

令和6年度 事業報告書

社会福祉法人さわらび会

介護老人福祉施設 早蕨
デイサービスセンター 樹蔭
デイサービスセンター 庵
ホームヘルパーステーション あおやぎ
居宅介護支援事業所 さわらび
地域連携室 さわらび

1. 令和6年度 運営目標

(1)感染症予防

- ① 感染症の感染経路や潜伏期間、症状などを周知啓発し、施設全体で感染症予防対策に取り組む。
- ② 換気・検温・手洗い・消毒・マスク着用及び行動履歴を残す等の感染予防対策に取り組む。又、ワクチン接種の協力を促す。
- ③ 新型コロナウイルス流行期には、新規入居者・退院者は、入居・退院前に抗原検査を実施する。
- ④ ショートステイ利用者は、利用前に検温や体調確認及び家族等の健康確認を実施する。
- ⑤ 原因不明の発熱や風邪症状のある利用者は、居室隔離（イエロー・オレンジ）やクラスター発生時に対応出来るように定期的にゾーニング訓練も実施する。

(2)人材確保（採用・定着・育成）

- ① 慢性的な介護従事者不足が課題である。ハローワークや各種職能団体への求人活動だけでなく人材紹介、派遣業者等を検討し、採用募集に取り組む。又、採用時には、ミスマッチングが無いよう適正な面接実施や事前見学・ボランティア体験・トライアル制度等の活用を行う。
- ② 介護技能実習制度による外国人介護職員（2期生）を確保・育成に取り組む。
- ③ 新人職員には、入職時に新人研修を実施し、所属長や教育部が計画的に関わり、習熟度の確認や職場環境への不安や疑問等が無いかの確認し、具体的な指導や助言を行う。
- ④ 職員個々に合わせた施設内外の研修に計画的に参加する。

(3)リスクマネジメント

- ① 介護中の事故や誤薬ゼロを目指す。ケアの統一を図り利用者に負担のないケアを提供する。
- ② ヒューマンエラーが起きる事を前提に配薬・服用マニュアルの厳守を務め、誤薬が発生しないように取り組む。誤薬やヒヤリハット発生時は、事故内容を検証し、再発防止策を策定する。
- ③ 安全対策担当者を中心に毎月の事故分析し、同事故・類似事故の再発防止に努める。又、分析結果を基に年2回の研修（法定研修）を実施し、「気づき」がある職員育成に取り組む。
- ④ 事故や虐待の温床になる不適切ケアの廃止に積極的に取り組む。職員同士が相互牽制やフォローを行い不適切ケアの無い風土作りに全職員が取り組む。

2. 令和6年度 稼働率目標

(1)特養・短期・空床ショート合計稼働率：96.44%

令和6年度は、健康管理と感染症予防対策を徹底し、入院日数の減少や空床ベットの積極的な活用に取り組むことで、合計稼働率96.44%（1日86.4名）を目標とする。

(2)特養入居稼働率：96%

優先入居の観点から長期待機者の状態を再確認できる体制を確保し、利用者待機者の状況把握に努める。これにより入居検討会時、現在入居されている利用者へのサービス水準の確保と施設見学・相談に随時対応することで新たな入居者への対応も可能とするように総合的に努める。

(3)短期・空床ショート稼働率：100%

新規、利用中の利用者が継続して利用をして頂けるように現場職員とも連携を図る。他居宅事業者との連携、感染状態、在宅での介護実態等を踏まえて必要に応じて柔軟な対応に努める。又、家族との良好な関係性の維持や行事や日々の関わりより利用者満足に繋げリピーター確保に努める。緊急での問い合わせにも多職種連携して柔軟な受け入れ態勢に努める。

令和6年度 基本方針・稼働率目標に基づき、次のような活動を行った。

令和 6 年度事業報告

1. 事業内容

(1)入居定員 90 名（介護老人福祉施設早蕨 80 名、短期入居生活介護早蕨 10 名）

階	居室タイプ	居室数	定員数	備考
2 階 (36 名)	個 室	8 室	8 名	和室 1 室
	2 人部屋	8 室	16 名	和室 1 室、S S 4 室
	4 人部屋	3 室	12 名	
3 階 (54 名)	個 室	18 室	18 名	
	2 人部屋	10 室	20 名	和室 1 室、S S 1 室
	4 人部屋	4 室	16 名	

(2)職員体制（令和 7 年 3 月 31 日現在）

（単位：人）

	人 数		合 計	資格
	常 勤	非常勤		
施設長	1		1	社会福祉施設長資格
事務長	1		1	
事務員	2	1	3	
生活相談	1		1	
介護支援専門員	2	1	3	介護支援専門員
看護職員	2	3	5	看護師、准看護師
介護職員	29	11	40	介護福祉士、実務者研修等
機能訓練指導員	1		1	准看護師
管理栄養士	1		1	管理栄養士
調理師	6	1	7	調理師
家事援助員		5	5	
洗濯・清掃員		5	5	
医師（内科医師：非常勤）		2	2	
合 計	46	29	75	—

(3)採用・退職

		令和 5 年									令和 6 年			合計
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
採 用	臨時		2											2
	パート	1									1	1		3
	派遣			1										1
退 職	正職		1	1								2		4
	臨時									1			1	2
	パート		1			1							1	3
	派遣			1										1

(4)職員法定健康診断（腰痛健康診断含む）（単位：人）

	延べ人数
一般健康診断	73
新規採用者健康診断	3
腰痛健康診断	107

2. 利用者状況（介護老人福祉施設）

(1)市町村別・性別・年齢別入居状況（令和7年3月31日現在）

	男性	女性	合計	平均年齢		
				男性	女性	平均
高知市	6	66	72	81.73	89.17	88.50
南国市		2	2			
香南市		2	2			
安芸市	1		1			
佐川町		1	1			
土佐市	1	1	2			
合 計	8	72	80			

(2)月別退所状況及び退所先

月別		人数	退所先			
			医療機関	施設	在宅	死亡
令和6年	4月	3	3			
	5月					
	6月	3	3			
	7月	3	3			
	8月	2	2			
	9月	3	3			
	10月	2	2			
	11月	2	2			
	12月	1				1
令和7年	1月	2	2			
	2月	2	2			
	3月	2	2			
合 計		25	24	0	0	1

(3)入居利用者の要介護度（令和7年3月31日）

要介護度	男性	女性	合計	構成比
要介護3	1	11	12	15%
要介護4	6	34	40	50%
要介護5	2	26	28	35%
合 計	9	73	80	100.0%

※入居者平均要介護度 4.2

3. 利用者状況（短期入所生活介護）

(1)利用者実人数

（単位：人）

	令和6年									令和7年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
介護	36	30	27	29	31	33	31	28	28	34	31	34	372
予防					1			1		1			3

<前年度：395名>

(2)延べ利用人数

(単位：人)

	令和 6 年									令和 7 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
介護	344	333	272	273	330	349	258	286	204	294	268	259	3,470
予防					9			9		3			21

<前年度：4,006 名>

4. 令和 6 年度 利用者数

(1)介護老人福祉施設

(単位：人)

		令和 6 年					
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
介護給付	要介護 2			26			
	要介護 3	128	128	150	125	140	202
	要介護 4	1,553	1,631	1,539	1,647	1,577	1,503
	要介護 5	585	637	561	525	541	657
	合 計	2,266	2,396	2,276	2,297	2,258	2,276
延べ定員数		2,400	2,480	2,400	2,480	2,480	2,400
稼働率 (%)		96.67	97.81	94.37	92.11	93.08	97.22

		令和 6 年			令和 7 年			合計
		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
介護給付	要介護 2							26
	要介護 3	234	216	242	302	288	293	2,448
	要介護 4	1,548	1,442	1,307	1,246	1,116	1,038	17,147
	要介護 5	612	634	771	753	751	842	7,869
	合 計	2,394	2,292	2,320	2,301	2,155	2,359	27,590
延べ定員数		2,480	2,400	2,480	2,480	2,240	2,480	29,280
稼働率 (%)		95.05	95.81	90.47	93.12	96.94	95.52	94.76

※介護 3 で入居された利用者が、6 月に介護保険更新を行い介護 2 の認定となった。再申請を行い介護 4 の認定となったが、26 日間は介護 2 の請求となった。

(2)短期入所生活介護

(単位：人)

		令和 6 年					
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
予防	要支援 1						
	要支援 2					9	
介護給付	要介護 1	66	34	16	39	52	86
	要介護 2	53	93	42	48	34	63
	要介護 3	150	151	166	143	155	137
	要介護 4	64	38	33	19	51	48
	要介護 5	11	17	15	24	38	15
	合 計	344	333	272	273	339	349
(併設延べ人数)		287	289	282	294	287	283
(空床延べ人数)		57	35	11	23	87	74
延べ定員数		300	310	300	310	310	300
併設稼働率 (%)		95.7	96.2	87.0	80.7	81.3	91.7
合計稼働率 (%)		114.7	107.5	90.7	88.1	109.4	116.4

		令和 6 年			令和 7 年			合計
		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
予防	要支援 1							
	要支援 2		9		3			21
介護給付	要介護 1	26	16	6	19	36	25	421
	要介護 2	60	80	46	67	68	36	690
	要介護 3	126	136	115	101	109	139	1,628
	要介護 4	27	37	24	83	33	38	495
	要介護 5	19	17	13	24	22	21	236
	合 計	258	295	204	297	268	259	3,491
(併設延べ人数)		298	281	299	288	267	260	3,415
(空床延べ人数)		6	28	21	29	34	22	427
延べ定員数		300	310	300	310	290	300	3,640
併設稼働率 (%)		81.3	89.0	59.1	86.5	9.8	82.6	85.2
合計稼働率 (%)		83.3	98.4	65.9	95.9	102.9	89.7	96.9

5. 入所待機者の状況（令和 7 年 3 月 31 日現在）

市町村名	人数	待機場所			
		医療機関	施設	在宅	その他
高知市	100	51	19	25	5
南国市	7	1	4	2	
香南市	1		1		
安芸市	2	1	1		
佐川町	1	1			
いの町	2		2		
土佐市	3	3			
四万十市	2	1	1		
室戸市	1	1			
芸西村	1	1			
三原村	1	1			
中土佐町	2	1		1	
合計	123	62	28	28	5

※前年度は 199 名の待機者であったが、本年度は 123 名。主の理由としては、待機期間中に他特養入所や療養へ転院、死去していたケースが多くあり、待機者数が大幅に減った

6. 研修実施状況

(1)外部研修（Zoom 研修も含む）

実施日		場 所	研修内容	参加数
令和6年	4 月 18 日	高知市健康福祉センター	健康で幸せに長生きできる高知市を目指して	2
	4 月 22 日	高知会館	介護報酬改定への対応	2
	4 月 30 日	ふくし交流プラザ	新型コロナウイルス感染症の 5 種類の対応方法	2
	5 月 15 日	高知市東部健康福祉センター	高知市介護支援専門員の倫理・法令遵守	1
	6 月 5 日	Zoom	急変への気づきと対応	2
	6 月 6 日	ナチュラルハートフルケア	介護福祉士会 介護技術研修会	2
	6 月 18 日	ナチュラルハートフルケア	B C Pについて 策定フォローアップ	1

	7月16日	ふくし交流プラザ	高知県高齢者虐待防止・権利擁護研修	1
	7月26日	ちより街テラス	リスクマネジメント研修会	1
	7月26日	総合あんしんセンター	身寄りのない方への支援について	1
	8月13日	プラザ八王子多目的ホール	社会福祉法人の地域における公益的な取り組み	2
	8月22日	総合あんしんセンター	入退院時の引き継ぎルールの運用について	2
	8月24日	e ランニング	介護施設における安全対策担当者養成研修	3
	8月29・30日	春野あじさい会館	スーパービジョンについてのプロセス理解を深める	1
	9月13日	ふくし交流プラザ	苦情解決セミナー	2
	9月18日	高知市東部健康福祉センター	東部ブロック会 グループスーパービジョン	1
	10月4日	三翠園	高知県老人福祉協議会 中間管理職研修会	2
	10月8日	セリーズ	安全運転管理者講習	1
	10月11日	高知会館	高知市と高知市内の意見交換会	2
	11月20日	高知市東部健康福祉センター	東部ブロック会 多職種事例検討会	1
	12月11日	三翠園	介護報酬改定後の現状・今後の戦略	3
	12月18日	Zoom	高知県高齢者虐待防止・権利擁護(居宅系)	2
	12月18日	高知市東部健康福祉センター	東部ブロック会 生活困窮者の支援	1
令和7年	1月31日	Zoom	高齢者に多い疾患別ケア 精神障害を理解	1
	2月1日	ふくし交流プラザ	ノーリフティングフォーラム	1
	2月13日	ふくし交流プラザ	社会福祉施設総合保険制度説明会	3
	2月17日	ザクランパレス新阪急高知	高知県経営協セミナー	2
	2月19日	高知市東部健康福祉センター	東部ブロック会 感染症・自然災害・BCP	1
	2月22日	ふくし交流プラザ	介護福祉士会青年部NEXT勉強会	3
	3月7日	ふくし交流プラザ	J S次世代委員会 総会	2
	3月19日	県民文化ホール	東部ブロック会 データー連携システム	1

<延べ参加者数：52名(研修31内オンライン研修4)>

(2)内部研修

実施日		場 所	研修内容			参加人数
令和6年	4月	23日	集合	部会	排泄援助について。陰部洗浄・オムツ交換の手順	25
		17日	集合	全体会	令和6年度事業計画について 施設理念・法令遵守	24
	5月	28日	集合	部会	リスクマネジメントとは。(事故委員会)	20
		22日	集合	全体会	感染症予防について(食中毒・新型コロナウイルス)	18
	6月			部会	コロナ感染症クラスターの為7月に延期	
		26日	紙面	全体会	災害対策BCP(事業継続計画)について	39
	7月	17日	紙面	部会	ノーリフトケアについて	39
		24日	紙面	全体会	3階特養コロナ感染症について	39
	8月	31日	紙面	部会	認知症ケア	39
		21日	紙面	全体会	高齢者虐待及び身体拘束廃止、事故防止	39
	9月	25日	紙面	部会	食と口腔ケアについて。誤嚥性肺炎予防と対策	39
		18日	紙面	全体会	ノーリフトケア(姿勢管理と腰痛予防)	39
	10月	22日	紙面	部会	褥瘡予防ケアについて	39
		16日	集合	全体会	感染症予防について	25
	11月	26日	集合	部会	オムツの基礎知識と誤薬について	25
		20日	集合	全体会	認知症ケアについて(認知症高齢者の理解)	26
	12月			部会	コロナ感染症クラスターの為1月に延期	
		18日	紙面	全体会	医療の基礎知識、高齢者の疾患対応法	37
令和7年	1月	7日	紙面	部会	防災について	36
		15日	紙面	全体会	食事について(栄養ケアマネジメント)	36
	2月	27日	集合(2階)	部会	R6.12 2階発生のコロナ感染症について	18

	19 日	紙面	全体会	高齢者虐待及び身体拘束廃止、事故防止	36
3 月	28 日	紙面	部会	褥瘡について	36
	19 日	紙面	全体会	生活リハビリ(自立・自律支援について)	36

＜延べ参加者数：集合 181 名 紙面 529 名＞

7. 委員会活動実績

各委員長を中心に事前に予定（場所・時間・内容）を決め招集を図り、法定委員会・運営委員会の定期開催を行う事が出来た。又、コロナ禍により自宅待機等で担当職員の出席が難しい場合、代理出席・紙面会議方式で対応し、年間を通じて開催を行う事が出来た。継続的に開催を重ねる事により、責任感や取り組み姿勢、書類作成、多職種連携が図れ、業務の統一等サービス向上に繋がった。

(1)法定委員会

①感染対策委員会

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	理事長	施設長	・利用者感染リストの更新（コロナ、インフル、血液） ・感染状況の確認及び予防対策の検討 （ノロウイルス感染の対応含む） ・各事業所や部門からの報告及び質問事項
	介護職員	看護職員	
	管理栄養士		
	特養外：樹蔭、居宅		

- ・毎月、利用者の感染キャリアリストを作成し、感染状況の確認を行う。
- ・在宅部門（デイ、ヘルパー、居宅）とコロナウイルス等、感染情報を報告し、施設入館者については近隣の感染状況を確認し制限や緩和について検討を行った。
- ・感染症（コロナ、インフルエンザ、ノロウイルス等）について在宅待機・入居者隔離期間の検討を行った。
- ・クラスター発生時、臨時の対策会議を開き情報の一元化を図り、内容の共有・検証を行い終末に向けて取り組んだ。又、感染期間中は特養 2 階・3 階（入居者・職員）及び他事業所との交流について検討を行った。

②褥瘡委員会

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	理事長	施設長	・褥瘡基本データを基に個別に対応経過の検証 ・ベットマット、エアーマットの使用状況の報告・確認 ・医療機関との連携検討
	管理栄養士	看護職員	
	介護職員		

- ・毎月、看護師より創部の現状報告（別紙資料）、医師指示内容の確認、ケア方針、補食の必要性等、多職種で検証を行った。
- ・褥瘡のレベルによって医療機関と連携し、治療や指示内容の必要性について検討した。
- ・褥瘡基本データを基に適正にベットマットの使用が出来ているのかリストを基に検証し、皮膚状態の異常の早期発見に努め、適宜ベッドマットの変更・体位変換の強化に努めた。
- ・体重減少・低栄養を把握し、家族と連携を図りながら補食の提供を検討した。

褥瘡各月別数（入院治療中の利用者も含めた数）

（単位：人）

		令和 6 年									令和 7 年		
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
発生者	2 階	1	1				1	1					
	3 階	3	3	3	3	3	5	2	1	1	1	1	4
	合計	4	4	3	3	3	6	3	1	1	1	1	4
レベル	I 度			1	1	1	2	1					
	II 度	4	4	2	2	2	4	2	1	1			2
	III 度										1	1	2

③安全衛生委員会

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	理事長	施設長	・ 特養職員の健康状態の把握 ・ 在宅職員の健康状態の把握 ・ 健康保持・向上への指導・助言 ・ 業務上の安全衛生に関わる設備の改善や修理
	事務長	介護主任	
	特養外：居宅		

- ・毎月、担当者より職員の心身状態の報告を行い、産業医・医療機関との連携（受診の有無など）を図り、対象職員にあった休息や業務内容の組み立てを検討した。
- ・腰痛予防ではノーリフト推進委員会と連携し取り組みを行った。具体的には福祉用具の導入、腰痛体操を推進する事により発生者の軽減を図る事が出来た。
- ・ストレスチェックや検診により大きく体調悪化する前に再検査や治療に繋げる事が出来た。

④事故防止検討委員会

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	理事長	施設長	・事故報告、ヒヤリハット 1・2 の集計分析 ・類似事故の再発防止策の検討及び指針の整備 ・事故発生防止研修の企画・実施
	教育指導主任	安全対策担当	
	看護職員	介護副主任	

- ・各階の事故及びヒヤリハットの種類や場所、時間等に整理し、発生状況の分析・検証を行った。又、類似事故等が発生していなか確認し、対応策が適切に実施されているかを検証した。
- ・事故の防止を目的として、インシデント（気づき）シートの活用を開始し、職員の気づきが増えてきた。又、重大事故は、多職種連携で再発防止に向けた研修の立案・実施を行った。

⑤虐待防止委員会 ⑥身体拘束廃止委員会（合同開催）

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	理事長	施設長	・高齢者虐待・身体拘束実施の有無の確認 ・不適正ケアの確認及び改善策の検討 ・意見箱の設置や家族アンケートの実施
	教育指導主任	安全対策担当	
	看護職員	介護副主任	

- ・施設内での高齢者虐待及び身体拘束の事例が発生していないかを毎月確認した。又、高齢者虐待の温床に成る不適ケアの実態を場面毎に検討し、不適切ケアに関しては、部会開催時に事例を元にグループワークを行い職員の意識「気づき」を高めた。
- ・意見箱の投函者はなかったが、引き続き利用者、家族への思いに寄り添える努力を心掛けた。苦情に関して双方の聞き取りを行い、迅速な対応する事で和解に繋がり職員全体へ苦情内容と改善策の周知徹底を実施した。

⑦給食委員会

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	理事長	施設長	・嗜好調査や残食、聞き取りから給食への意向を確認し、献立や調理方法の検討 ・行事や日々の食事提供での連携を図る ・食事形態の一覧の更新 ・新規利用者の食事形態の周知
	調理師	管理栄養士	
	介護職員		
	特養外：樹蔭職員		

- 嗜好調査や残食、聞き取りから給食への意向を確認し、利用者が好む献立の確認や食べやすい献立の検討を行った。
- 適温適時の配膳のため、配膳時間の調整や遅食者への対応方法の連携に努めた。
- 食中毒予防のための啓発や指導・連携に努めた。
- パントリー内での利用者食べ物を個別カゴにて管理を行い、消費期限の確認と提供を行った。

⑧定例入所判定会

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	第三者委員	施設長	- 第三者委員へ待機者情報の報告及び入院者の状況報告 - 毎月の入所判定会実施状況の報告及び確認 - 入居者の生活状況や施設の感染予防対応の現状報告
	ふれあいセンター長	生活相談員	

- 毎月、ふれあいセンターへ出向き、前月の入退居状況の報告と待機者の状況報告を行った。
- 地域での困りごとに耳を傾け、住み慣れた地域で生活ができるよう意見交換を行った。

⑨苦情解決委員会

開催月	出席者		主な議題
年1回	第三者委員	理事長	- 第三者委員へ1年間の苦情報告 - 地域からの相談への対応の報告とその対応への助言
	生活相談員	施設長	

- 苦情件数（1件）家族への報告の遅れ、誤解を招く説明不足について報告を行った。今後も信頼関係を築き誠心誠意努めるよう意見を頂いた。

(2)運営委員会

①ケアプラン委員会

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	施設長	ケアマネ	- ケアプラン内容に対して多職種からの意見検討 - 介護認定更新に関する対応報告 - 利用者及び家族からの思いの反映方法の検討
	機能訓練	看護職員	
	介護職員	管理栄養士	

- 介護認定調査状況や審査状況について情報の共有を行った。
- 利用者の状態を多職種と意見を交わし、専門性を高めると共に、スムーズに担当者会議につなげられる様に共有を図った。
- 短期、長期（3・6ヶ月）のプラン評価時には、ケアチェック表、モニタリング評価・記録表（別紙）等を多職種にまわし、現在の状態を記載してもらいプラン作成に活用した。
- 褥瘡診断、基礎疾患の悪化等、心身の状態に変化があった時は、多職種間で情報の共有を行いサービス内容の検討を行った。
- 介護職員と連携し、介護記録の定型文を活用しながら日々の記録を行う様に検討した。

②防災委員会

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	施設長	防火管理者	・年3回実施の防災訓練内容の検討 ・備品（ヘルメット・防災頭巾等）の総数・保管の確認 ・コンセントの点検確認（年3回） ・防災備蓄食料の確認（毎月）及び更新 ・非常避難路の確認
	管理栄養士	介護主任	
	看護職員		
	特養外：樹蔭、居宅		

- ・令和6年度は、6月に日中想定地震避難・火災訓練。11月に日中想定地震避難訓練。2月に夜間想定地震避難・火災訓練を実施した。又、2月に起震車を利用した地震体験を行い、地域の方を含め約80名に南海トラフ地震を想定した揺れを体験してもらった。
- ・防災訓練実施時期には、火災防止のためのコンセント点検やヘルメット等の防災備品の確認や防災備蓄食料の点検を行い、必要な防災備品を福祉避難所補助金で活用出来ないかを検討した。
- ・令和4年度から防災士の育成に計画的に取り組み令和6年度には各部署に防災士（10名）を配置することが出来た。

③サービス向上委員会

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	施設長	看護職員	・食事、口腔ケア、排泄、入浴に関するサービス提供の確認と見直しの検討 ・改善項目・直近課題の対応の検討
	管理栄養士	介護職員	
	看護職員		

- ・（排泄）スカイリフトを活用し日中のオムツ外しに取り組んだ。他社製品（オムツ・パッド類）のアドバイザーを招き、既存製品との比較（吸収性や使用感等）について検討した。
- ・（入浴）感染対策に備え各階での入浴に取り組んだ。又、午後浴や職員人数に応じて入浴表を作成する事でスムーズに入浴して頂ける様に取り組んだ。
- ・（食事）コップ1杯に対するトロミ使用量を定め使用量の統一を図る事が出来た。
- ・（口腔）年2回口腔機能アセスメント（個別）を行い、歯科医師又は歯科衛生士と連携を図り、口腔内の異常の早期発見と清潔保持に努める事が出来た。

④エコ委員会

開催月	出席者		主な議題
毎月開催	施設長	事務員	・電気、水道等を適正に使用しているか毎月確認 ・設備の修繕や整理整頓の確認及び啓発 ・エコマック（生ごみ肥料）の管理 ・計画的な備品点検と台帳管理や報告
	教育	介護職員	
	特養外：樹蔭、居宅		

- ・電気やエアコン等、気温等管理し必要時以外は、スイッチを切る様、適宜伝達している。
- ・季節の変わり目には、衣替えを行い、季節にあった衣服を着てもらえる事で気持ち良く生活できる様管理している。
- ・破損物があれば速やかに修繕依頼を提出するよう取り組んだ。
- ・車椅子の清掃表を作成し洗浄担当の職員に依頼する事で計画的に洗浄を行い清潔を維持できるよう取り組んだ。

⑤元気生きがい委員会

開催月	出席者		主な議題
偶数月開催	施設長	生活相談員	・年間行事予定の立案やクラブ活動等の企画検討 ・利用者間の交流の場の検討 ・利用者自身のやってみたい事の検討 ・関係部門、ご家族等への調整や環境整備の検討
	機能訓練	介護職員	
	特養外：地域連携室		

- ・好評だったレクリエーションやイベント内容をテーマに委員会で話し合い、季節のイベント参加や外出等で日常生活を楽しんで頂けるよう実施した。コロナ禍により控えていた外出行事では5年ぶりに手作り弁当を持参し、牧野植物園に遠足（入居者5名、職員8名）する事が出来た。
- ・新たなレクリエーションの企画として陶芸や喫茶を開催した。又、感染症に留意し外出行事を積極的に取り入れた企画を行った。

<令和6年度 年間行事予定実施状況>

日程	行事内容	実施状況
令和6年	4月 お花見 牧野植物園	護国神社へ桜花見 26名 牧野植物園へ遠足 5名
	5月 田植え見学	五台山小学校の子供達の田植え見学 8名
	6月 あじさい見学 新緑ツアー	野市あじさい街道へあじさい見学 6名 公用車故障により中止
	7月 すいか割り	特養のみで規模縮小（各階に分けて）し実施
	8月 五台山夏祭り	五台山夏祭りは開催したが感染予防のため外出中止
	9月 敬老会 花火	長寿のお祝い、技能実習生による浴衣ショー、職員の出し物 玄関前ロータリーにて実施 5名
	10月 観月祭 さわらび祭	お月見まんじゅうを提供し童謡を歌われる 職員出し物「バリ舞踊」「時代劇」「よさこい踊り」
	11月 コスモス見学	くろしおアリーナ駐車場に下車しコスモス見学 12名
	12月 クリスマス忘年会	2階コロナの為中止。3階職員出し物ハンドベル実施
令和7年	1月 新年会	職員扮する獅子舞を各階で実施し感動される
	2月 節分 バレンタイン	各階で実施 手作りケーキ（おやつ時）
	3月 ひな祭り	職員扮するおひな様に大喜びする

<毎月の行事>

- ・ホーム喫茶 ・料理クラブ ・誕生日会 ・茶道クラブ ・買物 ・陶芸

<毎週の行事>

- ・華道クラブ ・植物への水やり（鑑賞）

⑥ノーリフト推進委員会

開催月	出席者		主な議題
奇数月開催	施設長	教育	・ノーリフトケアに関する知識・技術の習得の検討 ・利用者サービス提供の検討 ・必要物品の点検と管理 ・多職種への働きかけ及び連携
	管理栄養士	介護職員	
	ケアマネ	看護職員	
	機能訓練		

- ・ノーリフト推進委員を中心に技術教育を行い、入居者、職員に負担の少ない介護「持ち上げない」「抱え上げない」「引きずらない」ケアを継続した。

- ・高知県ノーリフト認定施設の宣言、個人資格（マイスター研修終了 2 名、基礎研修 2 名）を取得する。令和 3 年度にノーリフト準備委員会を運用し、令和 5・6 年度はノーリフト推進委員会を経て知識・技術の向上の指導により定着を図る事が出来た事で令和 7 年度よりノーリフトケア委員会に名称を変更する。

使用状況：スライディングボード（14 名：17.5%）

リフト（12 名：15%）

スカイリフト（7 名：9%）

8. 各部門の取り組み

(1)教育部

- ① 基本理念や行動指針に添ったサービスが行えるよう、毎朝の申し送り時に、各部署担当者が代表となり参加者全員で基本理念を唱和する事で、法人理念を職員に浸透させることが出来た。
- ② 認知症教育では認知症リーダー研修修了者を中心に、8 月（特養部会：紙面）、11 月（施設内勉強会：集合）研修を行った。特養検討事例に沿って行う事で具体的に学ぶことができた。
- ③ 施設内勉強会では、集合研修 4 回、紙面研修 8 回を実施した。法定研修を、必要な内容で基本事項を学び適切なサービスが行えるよう計画的に実施した。又、7 月は特養 3 階で 6 月に発症したコロナ感染症について、再発防止のための対応内容等の情報共有が行えた。施設外研修では、感染症予防を行いながら集合研修にも職員が参加できた。
新入職者があった時は、その都度、施設長による新任者研修(施設理念、法令遵守、虐待・身体拘束について等)を行った。
資格習得調整では、介護福祉士 1 名、介護支援専門員 1 名、防災士 2 名、介護実務者研修 2 名終了と新たに取得する事が出来た。
- ④事故や苦情のリスク発生に対しては、安全対策担当者、相談員、介護主任と共に事故、苦情報告書の作成、職員指導・フォロー及び家族対応を行った。
- ⑥令和 6 年 5 月インドネシアより介護技能実習生 2 期生（2 名）を受け入れする。日本語教育については、介護主任と協力し行った。7 月の日本語能力試験 N3 に 1 期生 2 名、12 月に 2 期生 1 名が合格する。

(2)介護

【2 階】季節感を感じられるよう、壁画の作成やカレンダー作成を利用者と一緒に行った。又、行事の中で外出行事や施設内行事に他職種、他部署と協力し行う事で、社会との交流や利用者同士の交流を行う事が出来た。

【3 階】本館と新館に分けたグループケアに取り組む中で、クラスターや感染対策の為継続的に実施する事が出来なかった。

トイレでの排泄では、52 名の利用者に対し 20%の利用者がスカイリフトの導入でトイレでの排泄が出来るように取り組んだ。

① 生活全般

利用者の生活を継続していく為に意向や好みを確認しながらケアを行う事が出来た。又、感染状況を見ながら、昨年度と同様に花見やコスモス見学への外出行事に取り組めた。

施設行事も感染状況を見ながら、5年ぶりに少人数ではあるがお弁当を持って牧野植物園への遠足や職員や利用者だけではあったが、バリの舞踊や職員の寸劇、よさこい踊りを披露しさわらび祭や敬老会を開催する事が出来た。

② リスクマネジメント

行政報告の介護事故は、16件と前年度(14件)に比べ微増。内訳として誤薬事故6件、骨折7件、裂傷3件となっている。事故の発生後、適切に事故検討会を開催し、事故の原因、分析、対応策の検討を行った。検討した内容を高知市への提出後、全職員に回覧、及び指導を行い再発防止の周知徹底を図った。

苦情は、1件であった。内容としては、入院中の利用者の状態について職員同士で情報の共有が出来ていなかった。その為、入院中の状態等、家族への連絡体制の見直し、引き続き病状内容について多職種で共有を行った。

③人材(財)育成

職員個々への聞き取りを行い、勤務や業務内容の調整を行った。新人(経験者)職員育成については出来るだけ1対1での関わりを持ち、育成状況の確認を行い、人材育成に努めた。

内部研修だけでなく、Zoom研修を含む外部研修にも積極的に参加をし、資格取得にもつなげる事が出来た。

個人の資格実績…介護福祉士1名、介護支援専門員1名、実務者研修2名、認知症介護実践者研修2名、防災士1名。

④感染症対策

今年度は新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した。終結後は職員に感染対策時の振り返りを実施し意見を集め、反省会を行った。

短期間ではあるが、感染症が落ち着いている時には対面面会を行う事ができ、利用者や家族共に表情が和らぎ喜んで頂く事が出来た。

	時期	場所	職員	利用者	感染経路
新型コロナウイルス	R6.6月	3階	3名	7名	不明
	R6.12月	2階	13名	19名	SS利用者
インフルエンザ	R6.11月	3階	2名		家庭内感染
	R6.12月	2階	2名		家庭内感染
ノロウイルス	R7.3月	2階	5名	1名	不明
	R7.3月	3階	1名		—

⑤技能実習生受け入れ

令和6年5月よりインドネシアより2名の介護技能実習生を受け入れた。

1期生については、N3試験に2名とも合格し7月から技能実習2号となった為、8時間夜勤や定型文でのケアプラン入力に取り組んだ。2期生2名については日本語検定N3試験を12月に受け、1名が合格している。

⑥短期入所利用(ショートステイ)

利用者受け入れの際、情報を共有し在宅生活に近づけた居室環境の整備を行った。又、施設レクや陶芸教室等の個別レクへの参加を促し、楽しみを持って頂く事が出来た。

(3)看護

1年を通じてコロナ・インフルエンザ・ノロウイルス感染に苦しめられたが、協力病院であるいずみの病院との連携が2年目となり、往診や受診（検体受診を含む）、症状報告後の薬のみ処方など個々の利用者対応の相談がしやすくなり重症化を防ぐことができた。健診予定月にコロナクラスターが発生したがその後の日程調整や5類になり利用者のコロナワクチン接種についても、きんろう病院とスムーズに連携を図る事が出来た。認知症は南国病院、皮膚疾患については城東病院と連携をとりスムーズに受診する体制を構築することができた。

①服薬

誤薬・脱薬事故については、R5年は9件、R6年は7件と減少した。又、7件のうち2件はコロナクラスターの中で起きてしまった為、混乱している時こそ冷静な確認対応が必要なことを多職種で共有した。

更なる服薬管理の徹底と誤薬事故防止については、配薬箱の準備をしている人に声掛けしない・当薬時の服用完了確認の仕方・事故発生時の手順の見直しを行った。又、服薬マニュアルの変更も行い、服薬事故防止に取り組んだ。

②感染症

コロナ感染症が5類になり公費の支給がなくなり、物品確保するために施設負担が強られる中6月に3階、12月に2階のクラスターが発生した。感染経路の特定はできていたが、3階でのクラスター対応が活かせず、イエロー対応時の感染対策や職員個々の対応に不備があり、クラスターが拡大してしまった。又、全国的に感染拡大したノロウイルスに利用者1名が罹患した。しかしいずれも重症リスクの高い罹患者の入院対応・内服処方や点滴施行で重症化を防いだ。施設で起こりやすい尿路感染症については、勉強会で看護師が講師となり発生機序の講義や陰部洗浄のレクチャー指導を実施し、ケアの見直しを行った。

③多職種連携

日中は、午前・午後のバイタル測定を実施し体調変化の把握に努め、申し送りや現場で情報共有し必要な対処をした。又、夜間は、オンコール体制で夜勤者と連携を図った。陰部洗浄や体位変換、看取りに近い利用者の対応など介護職員と連携を取りながら業務改善を行った。

④褥瘡

利用者の皮膚状態について入浴時の観察や日々の処置と共に検査データやOHスケールをとって褥瘡予防に努めた。褥瘡発生時は専門医を受診し、褥瘡委員会では主体的に情報発信し、多職種協働で改善に取り組んだ。

特養入院日数状況

(単位：人)

	令和6年									令和7年			合計	平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
入院者数	8	2	11	9	11	4	7	4	12	3	3	6	80	6.7
延べ入院日数	114	64	123	135	214	123	68	108	152	166	78	114	1,459	121.6

特養外来受診状況（延べ人数）

（単位：人）

	令和 6 年									令和 7 年			合計	平均
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月		
内 科	15	10	17	21	25	10	19	17	14	7	9	22	186	15.5
検 体	3	1	4	8	10	5	7	5	5	4	5	6	63	5
整形外科	2	1	1	2	2	3	6	11	3	6	4	2	44	3.7
皮膚科	9	10	4	4	1	7	12	4	9	9	6	9	84	7.0
泌尿器科	1	2	5		1	1		1		1			12	1.7
精神科	3	3	3	4	1	3	4	4	5	5	4	4	43	3.6
脳外科			3	4			1	1	3	2	2		16	2.3
外科	1	1					1						3	0.3
眼科		1	2	1	1		1	1			1		8	0.6
循環器科				1		1	1						3	0.3
神経内科						1		1			2	1	5	0.4
合 計	31	28	35	37	31	26	45	40	34	30	28	39	404	33.7
救急搬送	4		3	3	5		2	3	6		3	3	32	2.7

※前年度受診件数は、260 件であったが 404 件と増加している。発熱者の検体受診や薬のみ受診をしたことが要因となっている。緊急性がなければ往診日に診察対応している。

(4)機能訓練（リハビリ）

- ①LIFE（科学的介護情報システム）に取り組み、アセスメントを定期的に厚生労働省へ送信しフィードバックされた全国のデータと早蕨を比較し、当施設でのリハビリ計画に取り入れた。
- ②入居者の日常生活動作の維持と向上が図れるよう、個別機能訓練計画書を立案。計画的に個別リハビリを実施した。又、機能訓練指導員だけでなく介護職員等に対して情報共有を図る為に、ケアプランと個別機能訓練計画書の計画書に沿った訓練内容を紙面や申し送り等で伝達を行い、実施できるよう方法の指導や確認を行う事で、利用者の日常生活動作の維持に繋がった。
- ③立位・移乗動作時の下肢の踏ん張り動作が困難な入居者に対して、ノーリフト推進委員会のメンバーとの連携を図り、入居者に合った福祉用具（スライディングボード・リフト）の選定を行い、移乗介助を行う事で利用者や職員共に、苦痛なく安全に移乗動作が行えた。
- ④日々の業務では、良肢位を保つ為、歩行訓練やROM 訓練及びポジショニングにより拘縮予防や褥瘡予防に取り組んだ。
 クラスタ発生時、隔離による臥床時間の長い入居者に対し、褥瘡や拘縮予防を図る為にポジショニングを実施出来るよう看護職員・介護職員と連携を図った。
 クラスタ収束後、速やかに入居者の ADL のアセスメントや評価を行い状態に応じた訓練を決定した事で、約 2 か月で元の状態に戻した。
- ⑤転倒・転落事故発生時、入居者のアセスメントを行った。又、事故検討会を開き、事故原因を明確にし対策を決定した。骨折等の症状が見られ ADL レベルが低下した場合は、サービス担当者会議を開き医療機関や多職種との連携を図り、対象者の ADL に合わせた個別機能訓練計画書の変更を行い、個別リハビリを実施した。
- ⑥ノーリフトケア推進委員会の委員として、職員の腰痛予防の為腰痛予防体操を通じ改善に努めた。
- ⑦集団体操で口腔体操と口腔マッサージを実施し、実施した入居者の誤嚥性肺炎の予防と口腔機能の維持に繋がった。
- ⑧ショートステイ利用者には、主に集団体操やレクリエーションを通じて関わりを行った。又、本人

や家族が希望された在宅で行っている個別訓練（立位・移動・歩行訓練等）を継続的に取り組んだ。

特養 個別機能訓練実施延べ人数

(単位：人)

	令和5年									令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
訓練人数	80	80	80	80	81	79	80	79	78	78	79	80	954

<平均人数:79.5人>

短期・個別機能訓練実施実人数

(単位：人)

	令和5年									令和6年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
訓練人数	17	27	27	32	31	30	30	24	30	30	28	28	334

<平均人数:27.8人>

(5)生活相談

①特養入居

- ・入居の相談及び申込窓口として対応を行った。令和6年度の定例入所判定委員会は、毎月『介護老人福祉施設早蕨の入退居にかかる指針』に基づき、第三者委員（高須ふれあいセンター長）も参加し、入居検討委員会が透明性・公平性の確保に努めた検討・決定を行った。
- ・入居待機者の状況については、生活相談員が連絡を取り状況の確認を行った。

入居検討委員会開催実績

(単位：回)

	令和6年									令和7年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
件数	1	2	3	3	3	2	2	2	1	1	2	2	26

- ・事前調査は、特に新型コロナウイルス関連の情報（対象者の健康状態、ワクチン摂取状況、家族等同居人健康状況など）の収集に努めた。
- ・ガラス越し面会は週3回（火・木・土曜日の午前）に変更を行い実施した。新規感染者定点2.25名とし、感染の増加やその兆候がある場合は、予告なしにガラス越し面会に変更になる事を基準に11月からは対面面会を実施し予約が毎週埋まる状態であった。延べ333名のご家族の面会を実施する事が出来、入居者、家族の笑顔が沢山見られた。
- ・令和6年6月、12月にコロナクラスターが発生した。12月は2階から発生で多数の新型コロナウイルス感染が拡大し、ショートステイの受け入れも困難な状況となった。入居者の入院も増加した。R7年1月の定例入居判定委員会は、感染予防のため中止となった。
- ・利用者預かり金については、3ヶ月毎に金銭出納簿を身元引受人へ送付し適切に取扱い出来た。
- ・苦情窓口となり家族からケアに対する要望、日常の声掛けや関わり、身体の変化等の報告があった。多職種と連携し常日頃の状態報告を共有し家族の思いを伝えた。

① 短期入所

- ・居宅からの緊急ショートの相談も受入可能範囲お受けし、家族が安心して過ごせるよう、また利用者が混乱せず利用できるように各部署と連携を図り、受入れを行った。
- ・事前調査は、特に新型コロナウイルス関連の情報（対象者の健康状態、ワクチン摂取状況、家族等

同居人健康、通所利用状況など）の収集に努めた。

- ・家族間でのコロナ感染や通所等で濃厚接触したとの情報からショートステイの受け入れは中止した。
- ・入院者や空床が出た場合には、各居宅介護支援事業所へ情報提供を行い稼働率維持に努めたてきたが、依頼内容では困難事例が多く家族の協力が得られないケースや医療行為（バルーンカテーテルの管理、痰の吸引、褥瘡の処置）等の相談もあり受け入れに至らなかった。

(6)ケアプラン

- ・心身の状態や取り巻く環境、入居者及び家族の希望等を勘案し、生命を優先した立案に努めた。施設サービス計画書（ケアプラン）の作成後は、入居者又は家族に説明、同意を頂いた。
- ・サービス担当者会議は定期的（6ヶ月）に開催し、認定更新時、入退院や事故等により心身の状態の変化があった場合、本人・家族の意向を確認し、速やかにアセスメントを行い、多職種の意見をまとめ、状態に応じた計画書の作成に努めた。
- ・家族参加の担当者会議については入居者・職員のコロナ感染、施設クラスターの発生により実現する事が出来なかった。サービスについては主に電話連絡にて意向を聞き、その他（面会、差し入れ）来設時に確認し計画書を作成する事が出来た。
- ・困難事例（BPSD、入退院等）には随時、多職種が集まり臨時の担当者会議を開催した。
- ・心身以外のサービス内容については、新聞や雑誌を読む、運動をしたい等、本人の希望に沿ったサービスが提供出来る様に作成を行った。散歩や近郊への外出時の様子については、モニタリング評価時に内容を家族に伝える事が出来た。
- ・ショートステイは、連続3泊4日以上の利用者に対し、居宅介護支援事業所からの居宅サービス計画書を基に、ショートステイの施設サービス計画書を作成した。作成した施設サービス計画書は、利用者及び家族に説明し同意を頂き、これに従って計画的にサービス提供を行った。

特養ケアプラン作成実績

（単位：件）

	令和6年									令和7年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
件数	32	29	28	33	28	32	33	30	28	28	31	28	360

<前年度：383件>

※R5年度実績より心身の状態変化に伴うサービスの変更は少なく作成件数23件減少した。

短期利用計画書作成実績

（単位：件）

	令和6年									令和7年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
件数	11	12	4	7	14	6	12	14	12	12	9	13	126

<前年度：145件>

※R5年度実績より感染症によりショート利用減、作成件数も19件減少。

(7)栄養・調理

①食事

給食委員会を毎月1回開催し、嗜好調査の結果を共有し、利用者の栄養状態、衛生管理、行事について各職種間で意見交換・検討を行い課題解決に努めた。朝礼に参加し多職種との連携を図り、食

事形態の変更等に迅速に対応出来た。

食思低下、嚥下状態の悪化、体調の変化が見られる利用者に対し、粥ゼリー、ゲル食の提供、栄養補助食品の提供や嗜好に添った食事提供に努めた。状態の変化に迅速に対応することで利用者毎の咀嚼、嚥下状態に応じた形態での食事を提供でき、食事量の維持にも繋がった。

さわらび祭ではお弁当に加え手作りのお菓子の提供を行った。敬老会でもお祝いの松花堂弁当の提供が出来た。摂取量の少ない利用者が普段より食べられたり、おいしそう、綺麗との感想が多く聞かれた。又旬の食材を使用した料理、行事食を提供し食事の面から季節を感じて頂けるように努めた。

今年度も食材料の値上がりが続いた。特に米の価格は令和 5 年度より 1.5 倍の価格上昇となった。予備分を含む食数の確認、炊飯量の見直しを頻回に行い、残食の減少に努めた。食材費の値上がりを啓発する事で利用者、職員食の欠食の連絡ミスが減少しフードロスに繋がった。

②栄養

多職種協働のサービス担当者会に参加し、栄養ケアマネジメントを実施することが出来た。

利用者ごとの身体的データ及びその他の身体状態を把握し状態に合わせた栄養補助食品を選定・提供を行う等栄養状態の維持・改善に努めた。大幅な体重減少がある時は多職種と情報を共有でき、医師に相談する事で必要に応じた対応ができた。褥瘡発生者、OH スケール高度リスクの入居者には食事量・体重増減の把握・栄養状態の確認を行い、状態によりカロリーの見直し、補助食品の提供を行い治癒に繋がった。

医師の指示により療養食の提供を行い、慢性疾患の病状の安定に努めた。

③衛生管理

適正な温度管理を行い調理が実施出来た。食事時間に合わせて調理・提供することで衛生的かつ適温での食事を提供する事が出来た。

大量調理マニュアルにある衛生チェック表を活用し納入した食材の温度管理、毎月の清掃や体調管理（年 1 回の定期検診や月 1 回の検便）チェックを行い、衛生管理に努めた。

④感染対策

感染症発生時に備え使い捨て食器の備蓄を行った。発熱者には感染症のリスク度により使い捨て食器での食事提供を行い感染対策に努めている。6 月と 12 月に特養でクラスターが発生し 6 月は通常の食事提供が行えた。12 月は調理師 3 名がコロナ陽性となった。行事、職員食を中止する事で通常の食事は提供することが出来た。

低栄養状態リスク(令和 7 年 3 月判定)

	令和 7 年 3 月	令和 6 年 3 月
低リスク	20 名	22 名
中リスク	48 名	44 名
高リスク	12 名	14 名

療養食（加算対象）

(令和 7 年 3 月)

心臓病食	糖尿病食	腎臓病食	合計
4 名	8 名	0 名	12 名

※療養食対象者は前年度と比較して対象者数に変更なし。

9. 防災・安全対策

(1)防災訓練

南海トラフ地震や火災災害に備え防災訓練を東消防署三里出張所、三誠産業（防災機器保守点検業者）と連携のもと、下記の通り実施した。

訓練実施日 訓練想定	訓練実施項目	参加者	
令和6年7月4日 (日中想定)	①地震発生前の身を守る行動周知（地震が来ること・頭等を守る）し、安全確保 ②地震発生後の利用者及び職員等の安否確認 ③火災発生の確認（出火元・火災の状況）及び必要に応じた初期消火 ④出火元からの避難誘導 ⑤消防機関への通報及び連携 ⑥施設内外の設備点検の実施（建物・設備の確認） ⑦災害対策本部の設置 ⑧情報収集（利用者、職員等の状況、施設建物状況確認）し、災害対策本部への報告 ⑨水消火器を利用した消火訓練	特養	職員：30名 利用者：65名
		樹蔭	職員：9名 利用者：29名
		居宅	職員：4名
令和6年11月7日 (日中想定)	①地震発生時の利用者及び職員自身の安全確保 ②地震発生後の利用者の安否確認 ③避難行動訓練（窓ガラス・倒壊物からの避難、1階からの垂直避難） ④負傷者への対応（ガラス飛散による裂傷、転倒による骨折 2F, 3F） ⑤施設内外の設備点検の実施（地震後火災の有無の確認も含む） ⑥情報収集（利用者、職員等の安否・受傷状況確認、施設建物状況確認） ⑦指揮統括（施設長へ安否確認及び被害状況報告） ⑧防災備品（移乗用担架、発電機）を使った訓練	特養	職員：25名 利用者：69名
		樹蔭	職員：9名 利用者：28名
		居宅	職員：4名
令和7年2月20日 (特養夜間想定) (デイ日中想定)	①地震発生時の利用者及び職員自身の安全確認 ②地震発生後の負傷者対応、安否確認 ③火災発生の確認及び初期消火 ④出火元からの避難誘導 ⑤消防機関への通報及び連携 ⑥情報収集（利用者、火災状況） ⑦緊急連絡網による状況報告	特養	職員：28名 利用者：64名
		樹蔭	職員：9名 利用者：31名
		居宅	職員：4名

令和7年2月6日に起震車体験のイベントを職員及び地域の方に向けて実施しました。職員70名、地域の方12名（高須地区7名、五台山地区5名）が参加し、南海トラフ地震の体験をしました。

(2)設備点検【法廷点検】について

① 消防用設備等点検は、三誠産業が、令和6年11月15日と令和7年2月5日の2回実施した。内、11月15日の点検結果を東消防署三里出張所に提出した。

②非常用発電装置は、四国電気保安協会が次のように実施した。

- ・絶縁監視装置点検を隔月毎実施。
- ・太陽電池発電点検を令和6年5月9日と令和6年11月5日の2回実施。

10. 広報活動

(1)ホームページ（スタッフ日記）更新：45回

	令和6年									令和7年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
回数	4	3	7	5	5	3	8	5	2	3	4	1	45

(2)「早蕨便り」を偶数月に定期便にて発送しています。施設内行事・外出レク・避難訓練・職員表彰等の様子等を取り入れ、ご家族より「施設の様子がわかります。また送られてくる事を楽しみにしています」等の意見が多く聞かれました。

11. 総括

(1)令和6年度は、新型コロナウイルス（3回）、インフルエンザ（1回）、ノロウイルス（1回）と年間を通じて感染症に苦しんだ1年であった。職員の頑張りや医療機関との連携で死亡例や重篤される例は無かったが、新型コロナウイルスの2回は、大規模なクラスターなりショートステイの受入中止で稼働率の低下を招いた。

感染症のリスクが低下してる時期は、積極的に外出行事（牧野植物園の遠足、さくら・あじさい・コスモス及び田植え・五台山小学校音楽会等）へ出る事が出来た。

(2)令和6年度の収入実績は、前年度 400,861,982 円（特養：353,819,491 円・短期：47,042,491 円）に対して今年度は、414,267,277 円（特養：371,095,976 円・短期：43,171,301 円）で前年度比 103.3%、日標に対しては 102%の実績であった。

特養入居の稼働率は、入院等の空床日数が 1,460 日で前年度より 41 日の増となり年間利用日数 29,200 日に対して実利用日数が 27,590 日、稼働率 94.5%で目標達成出来なかった。退居者は、前年度 24 名に対して今年度は 25 名とほぼ同数で、退所先は医療機関への入院が多く 24 名の 96%の割合となった。

短期入所の稼働率は、年間利用日数 3,650 日に対して実利用日数は 3,530 日（併設 3,103 日、空床 427 日）で、併設稼働率 85.2、空床を合わせると 96.9%となり、昨年度の 110.8%から 13.9%の大幅減となった。6 月と 12 月のコロナクラスターでショートステイ受入れ中止期間が低下原因である。

特養入居と短期入居の合計稼働率は、94.8%で令和5年度稼働率目標 96.4%を達成出来なかった。

(3)健康管理は、医務・介護が中心となり利用者の健康状態の把握に努めた。いずみの病院、きんろう病院とは、協力医療機関2年目である為、昨年以上にスムーズに医療連携が図れた。特にコロナクラスター時等は、入院調整や施設内療養時の指示を受ける事が出来た。前年度入院日数は 1,419 日で今年度は 1,459 名と 40 日の増となった。実入院者数は、80 名（令和4年度 74 名）で前年度もほぼ同じであった。

(4)感染症予防対策の新型コロナウイルス（6月・12月）、インフルエンザ（1月）、ノロウイルス（3月）に発生し、新型コロナウイルスは、各階でそれぞれ1回クラスターとなった。

<令和6年度、職員感染者数>

事業所・部署	コロナ陽性者数		インフル陽性者		ノロウイルス陽性者	
	R6 年度	R5 年度	R6 年度	R5 年度	R6 年度	R5 年度
事務職員	1 名	—	1 名	—	—	—
特養	22 名	6 名	6 名	—	—	—
デイ樹蔭	3 名	6 名	2 名	—	—	—
デイ庵	3 名	—	1 名	—	—	—
ヘルパーあおやぎ	—	1 名	1 名	—	—	—
居宅さわらび	—	2 名	—	—	—	—
地域連携室	—	—	1 名	—	—	—
厨房	3 名	3 名	—	—	—	—
洗濯・清掃	1 名	—	1 名	—	—	—
合 計	33 名	18 名	13 名	0 名	0 名	0 名

<令和6年度、入居者・利用者感染者数>

事業所・部署	コロナ陽性者数		インフル陽性者		ノロウイルス陽性者	
	R6 年度	R5 年度	R6 年度	R5 年度	R6 年度	R5 年度
2 階入居者	20 名	—	—	—	1 名	—
3 階入居者	8 名	—	—	—	—	—
SS 利用者	3 名	—	—	—	—	—
合 計	31 名	0 名	0 名	0 名	1 名	0 名

- (5)家族対応としては、コロナ禍であったが、ガラス越し面会の継続や感染症リスクが低下時には、4年ぶりの対面面会も実施した。早蕨便りやホームページを活用し、積極的に施設での取組をアピール出来た。又、猛暑である為、従来の納涼祭から秋祭りとして、「さわらび祭 2024」の開催や最高齢、白寿・米寿の年祝いの賞状式形式の敬老会も実施出来た。

外出では、5年ぶりにお弁当を持参して牧野植物園へ遠足に行けたことや桜・あじさい・コスモス見学、五台山小学校との交流として田植え、音楽会の見学にも出向け利用者・職員の多くの笑顔を見る事が出来た事とその行事を通じた会話（コミュニケーション）が大幅に増えた。

- (6)令和6年5月には、インドネシア（バリ島）から2期生2名の介護技能実習生を受入れ計4名となった。4名中3名は、日本語検定（N3）の合格し、8時間夜勤や変則勤務にも取組めた。

- (7)令和6年度は、Zoom研修が主流となったが、可能な限り施設外の研修にも参加した。又、個人での資格取得にも施設として後押しを行い、多くの職員が各種資格取得に繋がった。

内部研修は、年間を通じて感染症流行により紙面研修が中心となり配布資料の工夫や研修報告書の確認で理解度や疑問点・質問等が確認し、内容によつての個別指導・フォローに取り組んだ。

デイサービスセンター樹蔭 事業報告書

1. 令和6年度 基本方針

当事業所は、特養併設のデイサービスとして入居・ショート・ヘルパーステーションと密接な連携を図り、利用者の状況に合わせた対応が出来るデイサービスである。「自然豊かで穏やかな環境」「広々としたデイルームで個々に合わせた過ごし方」の居心地の良い空間の提供を行う。職員が主体的に働けるように、食事・口腔・入浴・排泄、行事を担当制とするとともに、積極的な外部研修への参加を行い質の高い介護を目指す。

(感染症対策)

感染症の対策として、利用開始前の検温・手指消毒の実施。送迎車・デイルーム等は「密」にならないように換気を行う。昼食後にも検温を実施し、体調不良時の早期発見に努める。

(居宅との関わり)

樹蔭デイだよりやリーフレット等の活用し、デイでの行事や取り組みの周知を図る。又、体調の変化や等の情報共有とともに、デイで出来る対処方法を提案する事で介護支援専門員と密接な関係を築く。

2. 令和6年度稼働率目標 1日平均33名(要介護31名・要支援2名)

3. 業務内容

通所介護計画の立案、送迎、入浴、食事、健康管理、レクリエーション、リハビリテーション、個別レクリエーション、機能訓練（要介護者には、日常動作訓練、要支援者には必要に応じての運動機能向上訓練）及び在宅介護についての説明・助言や口腔機能向上訓練及び感染症対策、防災対策、地域交流・地域貢献などを実施する。又、若年性認知症には、個別のケアプログラムを立案し実施する。

令和6年度 基本方針・稼働率目標に基づいた業務内容を次のように行った。

令和 6 年度事業報告

1. 事業内容

- (1)区分 通常規模型（6 時間以上 7 時間未満・7 時間以上 8 時間未満）
 (2)利用定員 45 人
 (3)営業日及び営業時間 月曜日から土曜日（祝日含む）午前 8 時 30 分から午後 5 時 30 分
 ※日曜日及び 12 月 31 日～1 月 2 日は休業

2. 職員の状況

- (1)職員体制 (令和7年3月31日現在) (単位：人)

	人 数		合 計
	常 勤	非常勤	
管理者兼主任介護職員	1		1
生活相談員	1		1
介護職員	3	5	8
看護職員		3	3
機能訓練指導員		1	1
運転手		2	2
合 計	5	11	16

- (3)採用・退職

		令和 6 年									令和 7 年			合計
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
採用	正職													
	パート				1			1			1			3
	派遣					1			1		1			3
退職	正職											1		1
	パート		1							1			1	3
	派遣							1	1					2

※正職の退職理由は自己都合によるものである。

- (4)職員法定健康診断（腰痛健康診断含む）（単位：人）

	延べ人数
一般健康診断	14
新規採用者健康診断	3
腰痛健康診断	27

3. 事業実績

(1)月別利用実績（延べ人数）

（単位：人）

		令和 6 年					
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
		営業 26 日	営業 27 日	営業 25 日	営業 27 日	営業 27 日	営業 25 日
予 防	要支援 1	0	4	8	10	8	9
	要支援 2	33	44	25	21	17	14
	小 計	33	48	33	31	25	23
介 護	要介護 1	205	232	242	260	267	196
	要介護 2	178	210	230	269	255	274
	要介護 3	156	171	141	157	157	142
	要介護 4	59	75	69	55	25	33
	要介護 5	11	18	12	12	10	11
	小 計	609	706	694	753	714	656
合 計		642	754	727	784	739	679

		令和 6 年			令和 7 年			合 計
		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
		営業 27 日	営業 26 日	営業 25 日	営業 25 日	営業 24 日	営業 26 日	310 日
予 防	要支援 1	14	10	8	8	6	4	89
	要支援 2	26	17	17	17	13	13	257
	小 計	40	27	25	25	19	17	346
介 護	要介護 1	257	259	248	232	296	322	3,016
	要介護 2	312	293	308	286	232	220	3,067
	要介護 3	146	108	108	113	91	67	1,557
	要介護 4	35	35	29	31	35	50	531
	要介護 5	10	11	5	8	7	6	121
	小 計	760	706	700	670	661	665	8,294
合 計		800	733	725	695	680	682	8,640

<1 日平均利用者 令和 5 年度 25.3 名 ⇒ 令和 6 年度 27.8 名>

※1 日平均利用人数は、目標の 84.2%、前年度対比は 109.9%であった。

(2)サービス提供体制強化加算（Ⅰ）

（単位：人）

	令和 6 年									令和 7 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
予防給付（実）	5	6	6	5	5	4	6	5	5	5	4	3	59
介護給付（延）	642	706	694	753	714	656	760	706	700	670	661	665	8, 294
介護福祉士比率（％）	63	57	53	58	60	52	65	68	57	66	63	62	—

※介護職員の総数のうち、介護福祉士の配置割合が 50%以上

(3)入浴・月別利用者実績

（単位：人）

	令和 6 年									令和 7 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
入浴	518	552	547	592	544	494	555	518	513	501	491	474	6,399

<入浴加算 令和 5 年度 6,123 名 ⇒ 令和 6 年度 6,399 名>

※令和 6 年度の利用者に占める割合は、77.2%であった。（前年度 88.0%）

※前年比 10%減少の主な理由は、新規利用の方が自宅入浴される事が多かった為、入浴者数が減少となった。

(4)個別機能訓練・月別利用者実績

(単位：人)

	令和 6 年									令和 7 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
機能訓練	549	592	639	634	586	555	661	597	610	571	539	506	7,039

＜個別機能訓練加算 令和 5 年度 6,513 名 ⇒ 令和 6 年度 7,039 名＞

※令和 6 年度の利用者に占める割合は 81.5%であった。(前年度 82.7%)

(5)居宅別利用者数内訳

(介護給付)

(単位：人)

	令和 6 年									令和 7 年			合計	割合 (%)
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月		
さわらび	45	45	44	43	42	43	45	42	43	42	41	41	516	62.1
クララ	4	3	4	4	4	4	3	4	4	5	8	8	55	6.6
まるごと応援隊	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	34	4.1
スタイル	2	1	1	2	3	3	3	4	4	4	4	4	35	4.2
土佐清風園	1												1	0.1
月ぬ美しや	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	21	2.5
グランボヌール	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.4
ふくい	1	1	1	1	1								5	0.6
あっとホーム	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	20	2.4
はるの若菜荘	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11	1.3
県庁生協	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.4
たんぽぽ	1												1	0.1
みやび	1	1	1	1									4	0.5
●ケサポートあき			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	1.2
●トマトの樹				1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	1.1
はる	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.4
メルシー	2	2	2	2	2	2	4	5	5	5	5	5	41	4.9
かのん	2	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	32	3.9
合計	70	66	67	68	68	68	71	71	71	70	71	70	831	100

※●は営業活動により新規 2 件追加。前年度より 3 件減少。

(予防給付)

(単位：人)

	令和 6 年									令和 7 年			合計	割合 (%)
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月		
基幹型	3	4	4	4	4	4	3	3	3	2	2	2	38	56.7
さわらび	1	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1	14	21.2
トマトの樹	1	1	1	1	1	1		1					7	10.6
あっとホーム						1	1	1	1	1	1	1	7	10.6
合計	5	6	6	6	7	7	5	6	6	4	4	4	66	100

※介護は、18 事業所からの利用があり、居宅さわらびが約 62.1%(前年度 59.8%)を占めている。

予防は、4 事業所からの利用があり、居宅さわらびが約 56.7%(前年度 42.9%)を占めている。

※予防の居宅は前年度と同居宅・同数となった。

(6)新規利用者・終了者の動向

①新規利用者

(介護給付)

(単位：人)

	令和6年									令和7年			合計	割合 (%)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
さわらび	4	1		1	1	1	2		2	1	2	1	16	47.1
クララ								1	2		1		4	11.8
メルシー							3						3	8.8
スタイル			1	1			1						3	8.8
あっとホーム							1					1	2	5.9
はる												1	1	2.9
かのん	1	1						1					3	8.8
まるごと応援隊	1												1	2.9
ケアサポートあき			1										1	2.9
合計	6	2	2	2	1	1	7	2	4	1	3	3	34	100

(予防給付)

(単位：人)

	令和6年									令和7年			合計	割合 (%)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
基幹型	1	1											2	100.0
合計	1	1											2	100

②終了者

(介護給付)

(単位：人)

	令和6年									令和7年			合計	割合 (%)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
長期入院		2	1	1	1					2	1	3	11	55.0
入 所	1	1				1							3	15.0
死 亡				1			1					2	4	20.0
そ の 他										1		1	2	10.0
合 計	1	3	1	2	1	1	1			3	1	6	20	100

(予防給付)

(単位：人)

	令和6年									令和7年			合計	割合 (%)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
長期入院														
入 所	1								1				2	67.0
死 亡										1			1	33.0
そ の 他														
合 計	1								1	1			3	100.0

※新規利用者は36名で前年度より9名の増加、利用終了者は前年度の30名から23名であった。

居宅への営業を行い新件獲得数・延べ人数の増加に繋がった。

(7)日課表

時間		通所介護	介護予防通所介護
サービス提供時間 (7時間～8時間)	8:30	朝礼 送迎（お迎え）	朝礼 送迎（お迎え）
	9:30	バイタルチェック （体温、血圧、脈拍、体重測定）	バイタルチェック （体温、血圧、脈拍、体重測定）
	10:00	ミーティング（送迎時等の共有） 入浴・水分補給 個別レクリエーション（創作・趣味活動） ・塗り絵、計算ドリル、間違い探し、囲碁・将棋、陶芸（月3回）	ミーティング（送迎時等の共有） 入浴・水分補給 個別レクリエーション（創作・趣味活動） ・塗り絵、計算ドリル、間違い探し、囲碁・将棋、陶芸（月3回）
	11:00	機能訓練リハビリ （パワーリハビリテーション等）	機能訓練リハビリ （パワーリハビリテーション等）
	12:00	リハビリ体操 かみかみ百歳体操	リハビリ体操 かみかみ百歳体操
	13:00	昼食、口腔ケア、排泄介助 休息タイム（お茶・休養）	昼食、口腔ケア、排泄介助 休息タイム（お茶・休養）
	14:00	いきいき百歳体操 集団レクリエーション（おじやみ積み、手ぬぐい掛け、脳トレなど）	いきいき百歳体操 集団レクリエーション（おじやみ積み、手ぬぐい掛け、脳トレなど）
	15:00	おやつ・水分補給 リハビリ体操	おやつ・水分補給・送迎（送り）
	16:00	排泄介助 ラジオ体操	
	16:45	送迎（送り） 清掃（消毒）、記録、翌日準備	清掃（消毒）、記録、翌日準備
	17:30	業務終了	業務終了

(8)年間行事实績

行事内容		実施日		延べ参加者数
定期	屋台	毎月（2回）	延べ24回	693
	売店	毎月（1回）	延べ7回	34
	陶芸	毎月（3日）	延べ36回	131
	お誕生日会	毎月（1～2日）	延べ16回	477
季節行事・不定期	季節レク（お花見）	令和6年	4月5日	20
	こいのぼり運動会		5月6日	28
	季節レク（梅雨）		6月4日	25
	デイ納涼祭		7月12日	27
	夏祭り		8月6日	30
	敬老会		9月16日	28
	運動会		10月14日	33
	季節レク		11月22日	29
	クリスマス忘年会		12月25日	27
	新年会	令和7年	1月8日	28
	節分		2月3日	27
	ひな祭り		3月3日	23

<延べ参加者数：1660名>

4. 年間研修実績

(1)外部研修（ZOOM 研修も含む）

実施日	場 所	研修内容	参加人数
令和 6 年	9 月 28 日・29 日	安芸総合庁舎 防災士養成講座	1
	12 月 18 日	ZOOM 研修 高知県高齢者虐待防止・権利擁護研修	1
	2 月 22 日	ふくし交流プラザ 高知県介護福祉士会 青年部 NEXT 勉強会	1

< 延べ参加者数：3 名 >

(2)内部研修

実施日	場 所	研修内容	参加人数
令和 6 年	4 月 17 日	利用者対応、令和 6 年度事業計画（部会）	9
		施設理念、コンプライアンスについて（全体会）	
	5 月 22 日	利用者対応（部会）	13
		感染症予防（全体会）	
	6 月 26 日	利用者対応（部会）	11
		防災対策（BCP）（全体会/紙面研修）	
	7 月 24 日	利用者対応、苦情について（部会）	10
		感染症対策について（全体会/紙面研修）	
	8 月 27 日	利用者対応（部会）	11
		高齢者虐待と身体拘束について（全体会/紙面研修）	
	9 月 18 日	利用者対応（部会）	14
		ノーリフトケア（全体会/紙面研修）	
令和 7 年	1 月 15 日	利用者対応（部会）	14
		食事について：栄養ケアマネジメント（全体会/紙面研修）	
	2 月 19 日	利用者対応（部会）	11
		高齢者虐待と身体拘束について・事故防止について（全体会/紙面研修）	
	3 月 19 日	次年度からの勉強会について・事故検討会（部会）	12
		生活リハビリ（自立と自律）（全体会/紙面研修）	

< 延べ参加者数：143 名 >

5. 総括

- (1) 令和 6 年度の収入実績は、前年度と比較すると 111%、収入目標に対しては 85%の実績となった。稼働日数 310 日で新規利用者は 36 名で前年度比 133%となった。

延べ 8640 名の利用があり 1 日平均利用者は 27.8 名で前年度比 2.5 名の増、年間延べ利用者は 765 名の増となった。

- (2) 新型コロナウイルスの対応として、職員・利用者ともにマスクの着用・手洗い・手指のアルコール消毒の実施、感染症が疑われる症状等がある場合には、出勤・利用の中止を行った。又、職

員・利用者の体調だけでなく、同居家族の健康状態やワクチン接種状況等を把握し感染予防に努めた。

新型コロナウイルスが5類に移行後、職員の罹患があったが感染経路は同居家族からが主であった。管理者が中心となって特養の感染症委員会へ参加し感染症の動向や感染症対策の周知を行う事でデイ内でのクラスターの発生を防ぐ事が出来た。

又、コロナ陽性の職員の自宅待機によりその日の勤務配置が難しくなった為、職員のストレスも増加していたが協力し合い乗り切る事が出来た。

- (3) 令和6年度は不定期ではあったがイベント浴を開催した。年間を通じ薬草湯やみかん風呂、ゆず湯等趣向を凝らしたお風呂で利用者に楽しんで頂けるように努めた。

外出行事の規制緩和により外出行事が行い易くなった為、4月に桜見学、5月にあじさい見学、10月にわんぱくこーち、11月にコスモス見学を実施出来た。

新型コロナウイルスで中断していた屋台を、令和6年5月にデイ庭で薫焼きタタキ、10月にたい焼きの実演を行う事が出来た。豪快にカツオを焼く様子やたい焼きの甘い匂いを楽しむ事が出来た。

敬老会では、最高齢者・100歳・米寿の祝いで表彰式を開催し、表彰状を送り長寿を祝った。表彰状を渡した事で利用者が自宅に飾り、ご家族にも喜んで頂けた。

- (4) 研修は、オンライン研修1回、外部研修2回に参加し、自己研鑽に努めた。施設内研修では年間研修計画を基に全体会を行い、部署単位で検討事項や在宅サービスに必要な研鑽を部会で実施した。又、利用者満足を上げるため意見を出し合い、職員一丸となり取り組む事が出来た。

- (5) 令和6年度は他居宅と併設居宅さわらびへの定期的に営業活動を行った。又、居宅さわらびと意見交換の場を設け、樹蔭に対しての要望や意見を聞き、業務の見直しを行う事により利用者ニーズに合わせた対応を行った。

- (6) 事故はなかったが、苦情として郵便物送付先登録ミスが1件あった。

デイサービスセンター庵 事業報告書

1. 令和6年度 基本方針

当事業所は、本部事業所と密に連携を図りながら、利用者の心身の状況に合わせた対応が出来る地域密着型の小規模デイサービスである。利用者ニーズに沿った日課やレクリエーションを実施。又、送迎時には、「当該施設から自宅の玄関まで」ではなく、心身の状況や利用者・家族ニーズにより、起床・臥床介助や荷物の準備も行う。一人暮らしの利用者には生活上必要とされている事（ゴミ捨て確認や援助）等にも対応できる事が大きなセールスポイントである。

(介護給付事業)

- ・要介護状態になった場合においても、その利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤独感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。又、利用者の要介護状態の軽減又は悪化の予防に資するよう、その目的を設定し計画的に行う。

(関係機関との連携)

- ・通所介護の実施にあたっては、居宅介護支援事業所、介護予防支援事業所、その他保険医療サービスや福祉サービスを提供する者及び行政機関との密接な連携を図りながら、総合的・効果的なサービス提供に努める。

2. 令和6年度 稼働率目標

1日平均12名

3. 令和6年度 業務内容

通所介護計画の立案、送迎、入浴、食事、機能・日常動作訓練、健康チェック、レクリエーション及び感染症対策、防災対策、地域交流・地域貢献などを実施する。

令和6年度 基本方針・稼働率目標に基づいた業務内容を次のように行った。

令和 6 年度 事業報告

1. 事業内容

- (1)区分 地域密着型（7 時間以上 8 時間未満）
- (2)利用定員 15 名
- (3)営業日及び営業時間 月曜日から金曜日（祝日含む） 午前 8 時 30 分から午後 5 時 30 分
※土・日曜日及び 12 月 31 日～1 月 2 日は休業

2. 職員の状況

- (1)職員体制（令和 7 年 3 月 31 日現在）（単位：人）

	人 数		合 計
	常 勤	非常勤	
管理者兼生活相談員兼介護職員	1		1
生活相談員兼介護職員	1		1
介護職員	2		2
看護職員兼機能訓練指導員		2	2
調理師		1	1
送迎運転手		1	1
合 計	4	4	8

- (2)採用・退職

		令和 6 年									令和 7 年			合計
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
採用	パート						1							1
	派遣		1											1
退職	パート													0
	派遣													0

- (3)職員法定健康診断（腰痛健康診断含む）（単位：人）

	延べ人数
一般健康診断	6
新規採用者健康診断	2
腰痛健康診断	11

3. 事業実績

- (1)月別利用実績（延べ人数）（単位：人）

		令和 6 年					
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
		営業 21 日	営業 23 日	営業 20 日	営業 23 日	営業 22 日	営業 21 日
介護	要介護 1	155	166	136	135	116	117
	要介護 2	87	82	79	114	109	108
	要介護 3		23	20	23	22	21
	要介護 4	16	19	16	15	9	9
合 計		258	290	251	287	256	255

		令和 6 年			令和 7 年			合 計
		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
		営業 23 日	営業 21 日	営業 21 日	営業 21 日	営業 20 日	営業 21 日	258 日
介護	要介護 1	117	95	94	107	93	92	1,423
	要介護 2	109	100	80	87	104	105	1,164
	要介護 3	26	30	41	39	63	71	379
	要介護 4	9	9	8	9	3	6	128
合 計		261	234	223	242	263	274	3094

＜1 日平均利用者 令和 5 年度 9.7 名 ⇒ 令和 6 年度 11.9 名＞

※1 日平均利用人数は、目標の 99.9%、前年度対比は 122.7%である。

※令和 5 年度と比較し 1 日利用者平均が 2.2 増したが目標に達成できなかった。原因は前半の新件利用者や体験者数が少なく後半に新件利用者数増加で追い上げ目標まであと少しだったが届かなかった。

(2)サービス提供体制強化加算（Ⅰ）

（単位：人）

	令和 6 年									令和 7 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
介護給付（延）	258	290	251	287	256	255	261	234	223	242	231	274	3,094
介福比率（％）	80	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	－

※介護職員の総数のうち、介護福祉士が占める割合が 70%以上である事、または 10 年以上の介護福祉士の割合が 25%以上配置されていれば加算要件をクリアとなる。

(3)入浴・月別利用者実績

（単位：人）

	令和 6 年									令和 7 年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
入浴	186	212	187	213	192	201	215	204	198	213	231	241	2,493

＜入浴加算 令和 5 年度 1,814 名 ⇒ 令和 6 年度 2,493 名＞

※令和 6 年度の利用者に占める割合は、80.5%であった。（令和 5 年度 71.9%）前年度より 8.6%増加しているのは、利用者の重度化と、新件のほとんどが自宅入浴困難で入浴を利用している為である。

(4)個別機能訓練・月別利用者実績

（単位：人）

	令和 6 年									令和 7 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
機能訓練	258	290	251	287	256	255	261	191	223	242	231	274	3, 094

＜個別機能訓練加算 令和 5 年度 2,291 名 ⇒ 令和 6 年度 3,094 名＞

※令和 6 年度の利用者に占める割合は、100.0%であった。（令和 5 年度 100.0%）

(5)居宅別利用者数内訳

（介護給付）

（単位：人）

	令和 6 年									令和 7 年			合計	割合
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月		
さわらび	10	10	10	10	10	10	10	9	9	10	10	10	118	41.4
トマトの樹	4	4	4	4	4	4	4	3	2	3	4	4	44	15.4
メルシイ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	4.2

はる	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	6	6	43	15.0
まるごと応援隊	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	4.2
マリン	2	2	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1	17	5.9
グランボヌール	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	4.2
虹の夢	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	4.2
こ結び	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	4.2
こはる										1	1	1	3	1.0
計	24	24	24	24	23	24	23	21	20	24	27	27	285	-

※介護は、8事業所からの利用があり、居宅さわらび（41.4%）と居宅トマトの樹（15.4%）の2事業所で56.8%を占めている。

(6)新規利用者・終了者の動向

①新規利用者

(介護給付)

(単位：人)

	令和6年									令和7年			合計	割合
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
さわらび										1			1	12.5
トマトの樹										1			1	12.5
はる								1		1	2		4	50.0
こ結び	1												1	12.5
こはる										1			1	12.5
計	1	0	0	0	0	0	0	1	0	4	2	0	8	-

<新規利用者 令和5年度12名 ⇒ 令和6年度8名>

※利用が無かった居宅やケアマネジャーからの新規紹介が2件あった。（こ結び、こはる）

②終了者

(介護給付)

(単位：人)

	令和6年									令和7年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
長期入院								1					1
入 所							1						1
死 亡								1					1
そ の 他													
計							1	2					3

<利用終了者 令和5年度10名 ⇒ 令和6年度3名>

※利用終了者が令和5年度10名から令和6年度3名と減少し、新規利用者令和5年度12名から令和6年度8名となった。心身状態を維持支援が出来た為、利用終了者が少なくトータルで利用者数の増加に繋がった。

(7)日課

サービス提供時間 (7時間以上8時間未満)	時間	通所介護
	8:30	朝礼
		送迎（お迎え）検温
	9:30	バイタルチェック（体温、血圧、脈拍、体重測定）
	10:00	ミーティング（送迎時等の共有）
		入浴・水分補給
		個別レクリエーション（創作・趣味活動）
		・塗り絵、計算ドリル、間違い探し、脳トレ（数字盤）
		機能訓練リハビリ
	11:30	リハビリ体操、かみかみ百歳体操、検温
	12:30	昼食、口腔ケア、排泄介助
		休憩タイム（お茶・休養）連絡ノート写真貼り
	14:00	いきいき百歳体操、ラジオ体操、ボール体操、脳トレ体操
	15:00	おやつ・水分補給
	15:20	集団レクリエーション（おじゃみ積み、手ぬぐい掛け、脳トレなど）
	16:00	排泄介助
	16:45	送迎（送り）
		清掃（消毒）、記録、翌日準備
	17:30	業務終了

(8)年間行事実績

行事内容		実施日		延べ参加者数
定期	誕生日会	利用者の誕生日前後		246 名
	避難訓練（火災）	令和 6 年	4 月 11 日	11 名
	避難訓練（地震・浸水）		10 月 22 日	8 名
季節行事・不定期	外出レクお花見（護国神社）	令和 6 年	4 月 2 日	10 名
	こいのぼり運動会		5 月 7 日	13 名
	外出レク紫陽花見学		6 月 11 日	14 名
	七夕祭り		7 月 5 日	15 名
	夏祭り（よさこい祭り）		8 月 9 日	12 名
	敬老会		9 月 16 日	13 名
	長寿を祝う会		9 月 17 日	10 名
	秋の大運動会		10 月 10 日	10 名
	外出レクコスモス見学		11 月 18 日	11 名
	クリスマス忘年会		12 月 25 日	12 名
	新年会	令和 7 年	1 月 3 日	12 名
	節分		2 月 3 日	14 名
	ひな祭り		3 月 3 日	14 名

＜延べ参加者数 令和 5 年度 311 名 ⇒ 令和 6 年度 425 名＞

※全ての利用者がまんべんなく楽しめるように実施した。令和 5 年度よりも利用者数が増加した為、参加者数も増加した。外出レクリエーションも楽しんでもらえた。

4. 年間研修実績

(1) 外部研修（Z o o m研修も含む）

実施日	場 所	研修内容	参加人数
令和 6 年	6 月 5 日	本部	急変への気づきと対応（オンライン）
	8 月 17 日	E-ラーニング	安全対策担当者育成研修
令和 6 年	8 月 3 日	本部	認知症を正しく知る（オンライン）
	12 月 18 日	本部	高齢者虐待防止・権利擁護研修（オンライン）

(2) 内部研修

実施日	場 所	研修内容	参加人数
令和 6 年	4 月 17 日	全会（令和 6 年度事業計画、コンプライアンス）	8 名
	4 月 11 日	部会（事故防止、高齢者虐待、身体拘束防止、感染症）	8 名
	4 月 11 日	入浴介助研修（入浴介助者対象）	5 名
	5 月 7 日	新人研修	1 名
	5 月 22 日	全体会（感染症予防について）	7 名
	5 月 9 日	部会（事故防止、高齢者虐待、感染症、口腔）	8 名
	6 月 27 日	部会（事故防止、高齢者虐待、身体拘束防止、感染症）	7 名
	6 月 26 日	全体会（災害対策・BCP について）	7 名
	7 月 24 日	全体会（感染症対策について）	7 名
	7 月 30 日	部会（事故防止、高齢者虐待、感染症、緊急時の対応）	7 名
	8 月 31 日	部会（事故防止、高齢者虐待、身体拘束防止、感染症）	7 名
	8 月 21 日	全体会：本部 全体会（高齢者虐待と身体拘束、事故防止リスクマネジメントについて）	7 名
	9 月 17 日	新人研修	1 名
	9 月 18 日	全体会（ノーリフトケアについて）	8 名
	9 月 13 日	部会（事故防止、高齢者虐待、感染症、プライバシー保護）	7 名
	10 月 7 日	法人・新人研修	1 名
	10 月 16 日	全体会（感染症予防について）	8 名
	10 月 30 日	部会（事故防止、高齢者虐待、身体拘束防止、感染症 BCP）	8 名
	11 月 20 日	全体会（認知症ケアについて）	8 名
	11 月 28 日	部会（事故防止委員会、高齢者虐待、身体拘束防止、感染症）	8 名
	11 月 28 日	入浴介助者研修（入浴介助対象）	4 名
	12 月 18 日	全体会（医療の知識・高齢者の基礎疾患）	8 名
	12 月 27 日	部会（事故防止委員会、高齢者虐待、感染症）	8 名
令和 7 年	1 月 15 日	全体会（食事について・栄養ケアマネジメント）	8 名
	1 月 20 日	部会（事故防止、高齢者虐待、身体拘束防止、感染症）	8 名
	2 月 19 日	全体会（高齢者虐待・身体拘束廃止、事故防止・リスクマネジメントについて）	8 名
	2 月 13 日	部会（事故防止、高齢者虐待、感染症・119 発生時対応実践）	8 名
	3 月 19 日	全体会（生活リハビリ・自立自律支援について）	8 名
	3 月 27 日	部会（事故防止、高齢者虐待、身体拘束防止、感染症、生産性向上）	8 名

＜延べ参加者数（紙面含む） 令和 5 年度 186 名 ⇒ 令和 6 年 201 名＞

※部会では年間研修計画に沿った研修内容で実施し、マニュアル確認も行った。紙面参加者で不明点等あれば個別にて対応した。施設内勉強会においても感染症対策の為、紙面での勉強会もあったが研修報告書提出により各職員の理解度を確認する事が出来た。新人職員においては本部での

新任研修に他新人職員と一緒に参加させてもらい、新人職員同士の交流もでき同期職員でモチベーションを高め合う事ができた。令和5年度は2名だった外部研修にも令和6年度は5名参加する事ができ、職員一人一人の持つ目標に向かって学ぶ事が出来た。

5. 総括

- (1)令和6年度の収入実績は、前年度と比較すると122.7%、収入目標に対しては99.9%の実績となった。稼働日数は258日で新規利用者は年間8名であった。延べ3,094名の利用があり1日平均利用者は11.9名で前年度比2.2名の増、年間の延べ利用者数は前年度2,521名と比べ573名の増となっているが。前半、減少は少なかったが新件や体験等の動きも少なく、後半に新件や体験が増加したが目標まで追いつく事ができず達成出来なかった。
- (2)令和6年度コロナウイルスやインフルエンザでの感染症予防策でデイサービスの利用控えをされた利用者は4名(10日)、コロナウイルス感染の利用者が2名(5日)職員が1名(10日)あったが、施設長の迅速な指示により、家族への連絡や日程調整をする事でクラスターにならず終息した。利用中の利用者においても休みなくサービスが利用でき稼働率も維持できる様、受診等による休みには利用曜日の振替変更や利用日数の調整も家族や担当ケアマネに積極的に提案できた。体調不良ではない当日の休みにおいても、送迎時間の調整を行い利用者に合わせた声掛けをする事で利用に繋げることが出来た。
- (3)年間行事では、より多くの利用者に参加して貰える様、カレンダー上同じ曜日になる行事(敬老会等)は内容を変え2回開催した。レクリエーションでは、利用者の手作りカレンダーに加え、持ち帰りできる作品を作成し展示、その後、持ち帰って貰い自宅でも達成感を感じてもらえるようにした。令和6年度は行政基準の緩和により数年ぶりに外出レクリエーションを実施する事ができた。車内から普段とは違う景色を見ながら四季を感じる季節の花見に行けて、利用者や職員にも喜ばれた。また、行事や作品作りの様子は写真撮影し表情は勿論、参加したことが振り返りわかる様に掲示をした。さわらび会ホームページ・スタッフ日記にも行事の写真をアップしてもらう事で、家族やケアマネジャーにも「楽しい様子が伝わります。」「おばあちゃんが映っていました。楽しみにしています。」等の声も聞かれ、喜ばれた。新規問い合わせの居宅ケアマネジャーからも「ホームページの楽しそうな様子やお食事も見ました」との声を頂いて好評を得ている。また、家族とは連絡帳以外にも平時と違う様子や体調の変化がある時は、電話やメールにて報告し体調変化にも迅速に対応し悪化する前に受診へと繋げることが出来た。同時に居宅ケアマネジャーや関係機関との連携も迅速に行い、長期休みや利用日減少を防げた。
- (4)施設内研修では年間研修計画を基に行い、部署単位で検討事項や在宅サービスに必要な研鑽を部会で実施した。
- (5)地域に根付いた施設として小中学校もあり通学路に面した立地である為「こども110番の家」への申請し登録ができた。駆け込んできた児童や生徒はいないが有事の際には保護できるよう職員にも周知した。

ヘルパーステーションあおやぎ 事業報告

1. 令和6年度 基本方針

- ・利用者の在宅生活継続の為に、生活の質の向上や自立支援を目標とし関連機関との連携を図りながら認知症やうつ病、看取り等の困難なケースにも対応ができるようヘルパーの資質向上を図る。

(介護給付事業)

要介護状態にある利用者に対して、適切な指定訪問介護を提供することを目的とする。

(予防給付事業)

要支援状態にある利用者に対して、昨日の維持及び向上を図り、「目標指向型」の適切な指定介護予防訪問介護を提供することを目的とする。

2. 令和6年度稼働率目標 利用者数 40 名（現状維持～微増）とする。

3. 業務内容

(1)提供するサービス内容（身体介護、生活援助）

(2)自己研鑽

(5)多機能連携

(3)利用者満足

(6)感染症や災害への対応力強化

(4)自立支援

(7)地域貢献・社会貢献

令和6年度 基本方針・稼働率目標・業務目標に基づいた業務内容を次のように行った。

令和 6 年度事業報告

1. 事業内容

令和 7 年 3 月 31 日現在 登録者 43 人（内予防給付 23 人）

2. 営業日及び営業時間

月曜日から土曜日 午前 8 時 30 分から午後 5 時 30 分 （但し、12 月 31 日から 1 月 2 日迄は除く）

3. 通常の事業実施地域

高知市、南国市

4. 職員の状況

(1)職員体制（令和 7 年 3 月 31 日現在）

（単位：人）

	人 数		合 計
	常 勤	非常勤	
在宅課長兼サービス提供責任者	1		1
サービス提供責任者兼訪問介護員		1	1
訪問介護員（介護福祉士）		3	3
訪問介護員（ヘルパー2 級）		1	1
合 計	1	5	6

(2)採用・退職

	令和 6 年									令和 7 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
採用：パート							1						1
退職：パート													0

(3)職員法定健康診断（腰痛健康診断含む）（単位：人）

	延べ人数
一般健康診断	4
新規採用者健康診断	1
腰痛健康診断	6

5. 提供するサービスの内容

- (1)身体介護：食事介助、排泄介助、入浴介助、起床介助、就寝介助、衣類着脱介助、整容介助、身体清拭介助、洗髪介助、体位変換、服薬管理、通院介助等
- (2)生活援助：調理、洗濯、掃除、買物、薬の受取り、衣類の入替え等

6. 事業実績

(1)介護度別稼働時間

(単位：分)

		令和 6 年					
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
予防給付	要支援 1	19 : 00	21 : 00	18 : 00	21 : 00	19 : 00	23 : 00
	要支援 2	20 : 00	18 : 00	19 : 00	25 : 00	32 : 00	53 : 00
	小 計	39 : 00	39 : 00	37 : 00	46 : 00	51 : 00	76 : 00
介護給付	要介護 1	68 : 00	63 : 00	65 : 45	65 : 30	64 : 30	64 : 00
	要介護 2	30 : 45	26 : 30	39 : 30	39 : 30	37 : 30	24 : 00
	要介護 3	19 : 30	17 : 45	14 : 30	14 : 30	7 : 30	5 : 45
	要介護 4	—	—	2 : 00	2 : 00	1 : 30	1 : 00
	要介護 5	4 : 00	4 : 00	4 : 00	4 : 00	5 : 30	4 : 00
	小 計	122 : 15	111 : 15	112 : 45	125 : 30	116 : 00	98 : 45
合 計		161 : 15	150 : 15	149 : 45	171 : 30	167 : 00	174 : 45

		令和 6 年			令和 7 年			合計
		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
予防給付	要支援 1	35 : 15	36 : 45	42 : 45	37 : 00	40 : 00	53 : 30	366 : 15
	要支援 2	44 : 00	48 : 15	54 : 00	46 : 30	54 : 00	51 : 45	465 : 30
	小 計	79 : 15	85 : 00	96 : 45	83 : 30	94 : 00	105 : 15	831 : 45
介護給付	要介護 1	54 : 45	62 : 30	62 : 30	63 : 45	57 : 30	45 : 15	737 : 00
	要介護 2	34 : 15	31 : 30	29 : 00	24 : 30	29 : 30	58 : 30	397 : 45
	要介護 3	12 : 30	11 : 00	12 : 15	11 : 00	11 : 00	6 : 15	139 : 45
	要介護 4	0 : 00	0 : 00	0 : 00	0 : 00	4 : 00	4 : 00	12 : 30
	要介護 5	4 : 00	5 : 00	4 : 00	5 : 00	4 : 00	4 : 00	51 : 00
	小 計	105 : 30	110 : 00	107 : 45	104 : 45	106 : 00	118 : 00	1,338 : 00
合 計		161 : 15	184 : 45	195 : 00	204 : 30	187 : 45	200 : 00	2,169 : 45

<令和 5 年度：予防・介護の合計は 1945 時間>

※予防給付が約 54.8%、介護給付が約 45.2%で、要介護 1 が約 34. %と割合が多かった。予防（基幹型）の新件が増え、要支援 1.2 の合計は 38%であった。介護の利用者は入院・入所等により減少。

(2)介護報酬加算件数

(単位：件)

		令和 6 年									令和 7 年			合計
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
初回 加算	予防			2	1	2	2	3	2	3		2	3	20
	介護	2			2	2			2	2	1	1	2	14

(3)居宅別利用者内訳

(介護給付)

(単位：人)

	令和 6 年									令和 7 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
さわらび	11	10	11	10	10	11	10	11	11	11	11	10	127
城見	4	3	3	3	3	2	2	2	2	2	1	1	28
一宮	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24

こ結び	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	13
県庁生協	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
トマトの樹	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1		12
かのん				2	2	2	1	1	1	1	1	1	12
たんぽぽ	1	1	1	1	1			1	1	1	1	1	10
りんくす	1	1	1	1	1				1	1	1	1	9
海の里	1	1			1	1	1		1			1	7
ｸﾞｻﾎﾟｰﾄあき	1	1	1						1	1	1	1	4
シリウス	1		1	1									3
ポラリス	1	1	1										3
あかり											1	1	2
さくら	1												1
スタイル	1												1
夢の里												1	1
合計	27	22	23	23	23	21	19	22	23	22	22	22	269

＜令和５年度：312件＞

※新件の依頼はあるが、ヘルパー不足の為に受け入れ出来なかった為、減少となる。

(予防給付)

(単位：人)

	令和 6 年									令和 7 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
基幹型	7	5	5	5	5	3	3	3	3	3	2	3	47
まるごと応援隊	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	19
かのん	2	1	2	2	2	1	2	2					14
さわらび	1	1	1	1	1	1	1	1	1				9
南国市	1	1	1	1	1					1	1	1	8
城見	1	1	1	1	1								5
シリウス	1	1	1	1									4
トマトの樹	1	2											3
合計	16	13	12	12	110	7	8	8	6	6	5	6	110

※介護は、17事業所（2事業所減だが、3事業所新規あり）からの利用があり、居宅さわらびが約47.2%を占めているが前年度（35.5%）より増。予防は、10事業所からの利用があり、基幹型が約31.5%を占めている。

(4)新規利用者・修了者の動向

①新規利用者

(介護給付)

(単位：人)

	令和 6 年									令和 7 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
さわらび	1		1		1			1					4
あかり											1		1
城見					1								1
こ結び												1	1
かのん			1										1
トマトの樹								1					1
ｸﾞｻﾎﾟｰﾄあき									1				1

夢の里												1	1
さくら		1											
合計	1	0	2	0	2	0	0	2	1	0	1	2	11

(予防給付)

(単位：人)

	令和 6 年									令和 7 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
基幹型					1	1		1	2	1	1	2	9
さわらび			1				1		1	1	1		5
シリウス			1	1			1					1	4
かのん								1		1	1		3
南国市					1		1						2
トマトの樹								1					1
城見						1							1
合計	0	0	2	1	2	2	3	3	3	3	3	3	25

②終了者

(介護給付)

(単位：人)

	令和 6 年									令和 7 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
さわらび		1	1			1			1		1	1	6
城見		1		1	1					1			4
ポラリス			1										1
スタイル	1												1
さくら		1											1
シリウス					1								1
トマトの樹								1					1
合計	1	3	2	1	2	1	0	1	1	1	1	1	15

(予防給付)

(単位：人)

	令和 6 年									令和 7 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
基幹型		1				1				1		1	3
さわらび							2						2
シリウス									1				1
まると応援隊										1			1
合計	1	1	0	0	1	3	1	0	0	1	0	0	8

4. 年間研修実績

実施日	場 所	研修内容	参加人数
令和6年	4月13日	ヘルパー室 認知症（アルコール性認知症）について	5
	5月31日	ヘルパー室 認知症（薬と経過観察）について	5
	6月29日	ヘルパー室 感染症について	5
	7月27日	ヘルパー室 生活援助について	5
	8月29日	ヘルパー室 高齢者の疾患について①	6
	9月24日	ヘルパー室 高齢者の疾患について②	6

令和 7 年	10月15日	ヘルパー室	ヘルパーの資質について	6
	11月20日	ヘルパー室	認知症について	7
	12月9日	ヘルパー室	高齢者の栄養について	7
	1月13日	ヘルパー室	むせ込みについて	7
	2月28日	ヘルパー室	緊急時の対応について	7
	3月28日	ヘルパー室	ヘルパーの資質について(振り返り)	7

＜延べ参加者数：73名＞

5. 総括

- (1)令和6年度は、年間を通じて新規依頼があり、可能な範囲で受入れを行ってきたが、ヘルパーの勤務時間や訪問距離、移動手段等で、断らざるを得ないケースも多くあった。収入実績は前年度対比103.2%、目標達成率については令和6年4月は33名で令和7年3月は42名と令和6年12月より40名の目標は達成できたが、合計417名であり年間を通しては87%と目標達成には至らなかった。ヘルパーの採用は1名あったが、担当ケアマネジャーよりヘルパーの指名等の要望もあり新規受け入れの制限の影響もあった。
- (2)今年度はヘルパーの退職はなかったが職員の勤務時間の調整等で稼働率の増には繋がらず、特養からの兼務の継続や1名の新規ヘルパーの採用を行ったが大幅な稼働率には繋がらなかった。
- (3)訪問時には、利用者や家族の気持ちに寄り添い、適切な事業が実施出来るよう、「気づき」のあるサービス提供に心掛けた。又「気づき」があれば居宅介護支援事業所との連携を図った。
- (4)精神疾患やうつ傾向、認知症の利用者の受け入れを行い、利用者や家族の状態に応じて、居宅介護支援事業所との連携を図り、緊急時訪問など臨機応変に対応出来た。精神科、診療内科受診が4名、認知症の診断が4名、こだわりが強く対応困難者が3名おり、心のケアや認知症の対応等の指導を行いヘルパーのスキルアップを図った。又、家族の入院期間中の短期間限定や早急な受け入れが必要なケースにも対応し、居宅からは「困った時のあおやぎさん」と信頼関係の構築に努めた。
- (5)研修については、コロナ禍の影響と職員体制により、残念ながら外部研修の参加が出来なかった。その為年間を通じて全ヘルパーが内部研修に参加し、自己研鑽に努めた。
- (6)新型コロナウイルスへの対応としては、マスクの着用・手洗い・手指のアルコール消毒の実施、感染症が疑われる症状等がある場合には、出勤・利用の中止の対応を行った。又、職員・利用者の体調だけでなく、利用者やヘルパーの同居家族の健康状態や県外往来者との接触状況等またワクチン接種状況等の把握し感染予防に努め、令和6年度の感染者はいなかった。

居宅介護支援事業所 さわらび事業報告書

1. 令和6年度基本方針

居宅介護支援事業所は、その利用者が要介護状態になった場合においても、可能な限り居宅において、その有する能力に応じた自立した日常生活を営むことができるように考慮して支援を行う。適切に保健医療サービスおよび福祉サービス等との連携に十分に配慮しながら総合的にかつ効果的に支援する。

利用者の意見及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って、多数の事業所から希望に沿った事業所の選定を行う。

2. 令和6年度利用者実績数

	令和6年度	令和5年度
居宅サービス計画作成数（要介護1～5）	130件/月・1,560件/年	126件/月・1,516件/年
介護予防サービス計画作成数（要支援1・2）	31件/月・366件/年	30件/月・363件/年

3. 居宅介護支援事業所の内容

身体状態、介護状態、居住環境、現在利用しているサービスや家族等の在宅介護力を課題分析し、解決すべき課題を把握し、在宅生活における問題点を明確にする。

- ・アセスメントの実施
- ・ケアプラン作成
- ・サービス担当者会議の開催・意見の聞き取り
- ・ケアプランの説明・交付・同意
- ・月1回のモニタリング
- ・必要時の再アセスメントの実施に伴うケアプランの変更
- ・要介護認定の申請・更新・変更
- ・福祉用具購入や住宅改修の申請代行
- ・給付管理等

令和6年度基本方針及び目標実績数・業務内容に基づき、次のように行った。

令和 6 年度事業報告

1. 事業内容

(1)営業日及び営業時間

月曜日から金曜日（祝日含む）午前 8 時 30 分から午後 5 時 30 分

※日曜日及び 12 月 29 日～1 月 3 日は休業

(2)通常の実施地域

高知市、南国市

2. 職員の状況

(1)職員体制（令和 7 年 3 月 31 日現在）

（単位：人）

	人数		合計
	常 勤	非常勤	
管理者兼主任介護専門員	1	—	1
介護専門員	3	—	3
合 計	4	—	4

(2)職員法定健康診断（腰痛健康診断含む）（単位：人）

	延べ人数
一般健康診断	4

3. 事業実績

(1)月別利用実績

（単位：人）

		令和 6 年					
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
予 防	要支援 1	16	15	15	16	15	16
	要支援 2	15	12	13	14	15	14
	小 計	31	27	28	30	30	30
介 護	要介護 1	58	58	56	55	53	50
	要介護 2	38	40	40	36	37	40
	要介護 3	23	24	23	24	23	22
	要介護 4	11	10	11	11	8	7
	要介護 5	9	8	7	7	7	7
	小 計	139	140	137	133	128	126
合 計		170	167	165	163	158	156

		令和 6 年			令和 7 年			合計
		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
予 防	要支援 1	16	16	15	15	18	18	191
	要支援 2	15	14	17	17	15	14	175
	小 計	31	30	31	34	33	32	366
介 護	要介護 1	53	50	51	51	50	53	638
	要介護 2	43	42	45	46	41	37	485
	要介護 3	20	18	20	17	17	17	248
	要介護 4	6	6	6	7	6	7	96

	要介護 5	7	8	8	9	9	78	93
	小計	129	124	130	130	123	121	1,560
	合 計	160	154	162	162	156	153	1,926

＜令和 5 年度： 1,879 人＞

※包括支援センターや病院など空き状況の紹介や、連携を図った。

利用実績

介護 130 件/月（目標：128 件/月・令和 5 年度：126 件/月）

支援 31 件/月（目標： 28 件/月・令和 5 年度： 30 件/月）

(2)各加算実績

(介護給付)

(単位：人)

	令和 6 年									令和 7 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
初回加算	8	3	3	1	2	5	4	1	11	2	2	2	44
特定事業所 加算Ⅱ	139	140	137	133	128	126	129	124	130	130	123	121	1,560
入院時情報 連携加算	6	4	5	8	9	5	5	8	3	11	4	5	73
退院・退所 加算（Ⅰ）イ	9	3	1	1	1	2	2	1	5	7	3	2	37
通院時情報 連携加算	6	6	5	7	5	2	4	3	3	7	2	4	54

(予防給付)

(単位：人)

	令和 6 年									令和 7 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
初回加算			1	2	1		1		2	3	2		12
委託連携加算			1	1	1		1		4	3	2		13

※令和 6 年 12 月是他居宅から変更担当依頼あり、初回加算の増となった。

令和 6 年 4 月から高知市の認定調査が全件対象となり、介護と予防の間での変更増えている。

	令和 6 年									令和 7 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
担当者会議	48	44	39	33	30	35	30	31	42	47	38	41	458
モニタリング	139	140	137	133	128	126	129	124	130	130	123	121	1,560

※利用者の意向や思いをくみ取り、担当者会議・モニタリングを行った。

(4)年間事業所別利用者数内訳

①通所介護・通所リハ事業所

(単位：人)

	令和 6 年									令和 7 年			合計	割合 (%)
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月		
【通所介護】														
樹蔭	40	43	40	40	38	40	41	36	37	38	38	39	470	53.3
ツクイ東雲	7	9	9	10	10	11	11	11	11	10	10	9	118	13.4
ニチイケアセンター	6	6	6	6	6	4	4	4	4	5	5	5	61	6.9
リハライフ卸団地	3	3	3	3	3	3	3	3	4	5	6	5	44	5.0
ジョイリハ高須	3	4	4	4	4	4	4	4	3	3	2	3	42	4.8
いとう	3	3	3	3	3	2	2	2	3	3	3	3	33	3.7
リハライフ高須	3	3	2	2	2	2	2	2	4	4	3	4	33	3.7

ツクイ神田	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	18	2.0
梅一輪	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	13	1.5
ライラック	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.4
はるかぜ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.4
たくさん	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.4
なぎさ	1	1	1			1	1	1	1	1	1	1	10	1.1
リハライフ		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	1.1
トマトの樹	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			10	1.1
アートケア仁井田	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			10	1.1
グランボヌール	1	1	1	1	1	1					1	1	8	0.9
スタイル高須	1	1	1	1	1	1	1						7	0.8
あおぞら	1	1	1	1	1	1							6	0.7
北新田								1	1	1	1	1	5	0.6
楽リハ	1	1	1										3	0.3
おらんくの縁側				1	1								2	0.2
あったかケアみずき											1		1	0.1
西田順天堂	1												1	0.1
合計	79	84	81	81	79	79	77	72	76	78	77	78	941	
【地域密着型通所介護】														
庵	10	10	10	10	10	10	10	9	9	10	10	10	118	36.3
ロミ	3	3	3	3	2	3	2	2	1	3	4	4	33	10.2
わたぼうし種崎	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	7.4
アルコ瀬戸	3	3	3	2	2	2	2	1	2	1	1	1	23	7.1
マイガーデン	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13	4.0
うぐるす	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.7
北新田	2	2	2	2	2	1	1						12	3.7
ながおか	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.7
奏	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.7
ふれあいのさと結	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.7
こはる	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	11	3.4
ひらり	2	1	1	1	1			1			1	1	9	2.8
愛結こうち	1	1	1	1	1	1	1	1					9	2.8
いこう家	1	1	1	1	1	1	1	1					8	2.5
はっぴい大津			1	1	1				1	1	1	1	7	2.2
こじやリハこうち							1	1	1	1	1	1	6	1.8
ときめき	1	1	1										3	0.9
暖	1												1	0.3
合計	33	30	31	29	28	25	26	24	22	25	26	26	325	
【認知症対応介護】														
地球 33 番地	1	1	1	1	1								5	100.0
合計	1	1	1	1	1								5	
【通所リハビリテーション】														
いとう	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	22.2
南国中央病院	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	22.2
あいおい	1	1	1	1	1	1	1	1	1				9	16.7
さんさん	1	1	1	1	1		1		1	1	1		9	16.7

こうせい	1	1	1	1	1							5	9.3
青柳	2									1	1	4	7.4
だいいちリハ								1	1	1		3	5.6
合計	7	5	5	5	5	3	4	3	5	4	1	3	54

※通所介護の傾向として、日曜日利用可能施設を希望する傾向がある。

②訪問介護・訪問看護・訪問リハビリ・入浴事業所

(単位：人)

	令和6年										令和7年			合計	割合 (%)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
【訪問介護】															
あおやぎ	11	10	11	10	10	11	10	11	11	11	11	10	127	39.9	
旧) ほのか	4	5	5	5	4	4	4	3					31	9.7	
Reborn	2	2	2	2	1	1	1	1	3	2	2	3	22	6.9	
はる	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1			19	6.0	
ほのか									3	3	4	4	17	5.3	
ニチイケア高知東	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13	4.1	
ウエルライフ上町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.8	
ニシダ順天堂	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.8	
りんくす	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.8	
なかよし	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	11	3.5	
ニチイ南国	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1			11	3.5	
ニチイ高知	1	1	1	1	1	1				1	1		10	3.1	
トマトの樹		1		1	1	1	1	1	1	1			9	2.8	
万々の恵	1	1		1	1	1	1	1					8	2.5	
朝日							1	1	1	1	1	1	6	1.9	
やまもも	2	2											4	1.3	
ベターライフ			1										1	0.3	
YsFamily									1				1	0.3	
合計	30	31	30	28	26	26	26	26	29	26	24	24	326		
【訪問看護】															
海の里	4	7	4	4	4	5	5	5	5	4	4	2	53	20.4	
リカバリー	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	2	2	33	12.7	
カルナ	1	1	1	2	2	2	1	1	4	3	3	3	24	9.2	
誠	3	3	3	2	2	2	2	2	2	1	1	1	24	9.2	
Mast	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	9.3	
いずみの病院	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	4.6	
城見	1	1	1	1	1	1	2	2	2				12	4.6	
はる	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	4.6	
そらとこころ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	4.6	
えん訪問看護南国	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	4.6	
アート		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	4.2	
心愛	1	1	1	1	1					1	1	1	8	3.1	
たかす	1	1	1	1	1	1	1						7	2.7	
こうせい	1	1	1	1	1	1							6	2.3	
はっぴい&へるす	1	1		1			1	1					6	2.3	
つむぎ	1	1	1	1	1	1							6	2.3	

POSTONz	1	1	1	1									4	1.5
合計	24	28	24	25	23	23	22	21	23	19	18	16	266	
【訪問リハビリテーション】														
うめのつじ	3	3	3	3	3	1	1	2	4	4	5	5	37	100.0
合計	3	3	3	3	3	1	1	2	4	4	5	5	37	
【定期巡回・訪問介護看護】														
アート	4	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	38	66.7
はっぴい&へるす	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	14	24.6
ナースケアいろは	1	1	1	1	1								5	8.8
合計	6	5	6	7	5	4	4	4	4	4	4	4	57	

※訪問介護利用数 326 名（令和 5 年度 395 名）17%の減少となった。一定ニーズはあるが、ヘルパー不足等の要因と思われる。又、独居等の増加より、定期巡回の利用者は増加している。

③短期入所生活介護・短期入所療養介護

（単位：人）

	令和 6 年										令和 7 年			合計	割合 (%)
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月			
【短期入所生活介護】															
早蕨	14	12	11	12	14	16	12	11	10	13	12	13	150	65.8	
海の里	3	3	3	2	4	3	2	2	3	1	2	2	30	13.2	
絆の広場	4	2	1	2	1	1	2	2	2	1	2	3	23	10.1	
グランボヌール	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	5.3	
しなね	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	5.3	
もとちか								1	1	1	1	1	5	2.2	
白銀荘	1												1	0.4	
そよ風		1											1	0.4	
合計	24	20	17	18	21	22	18	18	18	18	19	21	234		
【短期入所療養介護】															
あったかケアみずき	1	1				1	1				1	2	6	66.7	
やわらぎ	1	1											2	22.2	
シルバーマリン		1											1	11.1	
合計	2	3				1	1				1	2	9		
【特定施設短期入所者生活介護】															
はるか								1					1	100.0	
合計								1					1		

※利用者数に変化はなかった。

④福祉用具貸与事業所

（単位：人）

	令和 6 年									令和 7 年			合計	割合 (%)
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月		
トーカイ	22	23	23	24	22	18	20	18	19	19	18	16	242	22. 2
アルフレッサ	15	16	15	16	15	17	19	19	18	18	18	17	203	18. 7
PLASS G	13	14	13	12	13	14	16	13	14	12	15	12	164	15. 1
土佐ガス aico	16	16	15	13	11	10	9	9	8	11	10	11	139	12. 8
翼高知	11	12	11	11	11	11	11	11	11	11	9	8	128	11. 8
四国医療	9	9	10	9	9	8	9	9	9	9	7	6	103	9. 5
共栄医療器	5	4	4	4	4	4	4	3	4	3	3	3	45	4. 1
オフィスウエハラ	2	2	3	3	2	2	1	1	2	3	2	2	25	2. 3

マサキ	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	20	1.9
ミニパック	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	18	1.7
石原産業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.1
ミカリ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.1
合計	99	102	100	98	93	90	94	88	90	93	86	79	1,112	

※担当利用者の増加に伴い、福祉用具利用者も増加している。

⑤居宅療養管理指導

(単位：人)

	令和6年									令和7年			合計	割合 (%)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
みなみ在宅クリニック	5	6	4	3	3	3	4	4	5	5	6	4	52	48.1
上町薬局	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	11.1
高知生協病院	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	11	10.2
ひまわり在宅クリニック	1	1	1	1	2	1	1	1	1				10	9.3
しののめ薬局			1	1	1	1	1	1	1		1	1	10	9.3
エール薬局たかす	1	1	1	1	1	1	1		1				7	6.5
みなみの風診療所			1	1	1	1	1		1				5	4.6
あじさい薬局	1	1	1	1	1								5	4.6
薬局清流けら店							1	1		1		1	4	3.7
やまと診療所								1	1	1	1		4	3.7
病院通薬局みさと							1	1					2	1.9
ほそぎ診療所											1	1	2	1.9
エール薬局かづらしま		1						1					1	0.9
合計	10	12	11	9	11	9	12	11	10	10	11	9	125	

※受診困難な利用者に訪問診療や薬剤師の訪問サービスを紹介し、定期受診・服薬管理の支援が行えた。

(5)新規利用者・修了者の動向

①新規利用者

(単位：人)

	令和6年									令和7年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
予防給付			1	1	1		1		1	3	2		10
介護給付	8	3	3	1	2	5	4	1	11	2	2	2	44
合計	8	3	4	2	3	5	5	1	12	5	4	2	54

※包括支援センター、病院からの紹介あり。

②終了者

(単位：人)

	令和6年									令和7年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
死亡	2	1	2		1	1	1	2	3		2		15
入所	1	1	1		2	1	1	2	1		1		11
入院	1	1	1	2	2	2		1	2		3		15
その他	2	1		1	1		1	2	2	1	1		12
合計	6	4	4	3	6	4	3	7	8	1	7		53

4. 年間研修実績

(1)外部研修（Z o o m研修も含む）

①東部ブロック会

実施日	場 所	研修内容	参加人数
令和 6 年	4 月 18 日	高知市保険福祉センター	高知市居宅介護支援事業所協議会総会
	5 月 15 日	東部健康福祉センター	倫理・法令順守
	6 月 19 日	東部健康福祉センター	報酬改定
	7 月 17 日	東部健康福祉センター	ACP
	9 月 18 日	東部健康福祉センター	グループスーパービジョン
	10 月 16 日	東部健康福祉センター	救命救急
	11 月 20 日	東部健康福祉センター	見える事例検討会
	12 月 18 日	東部健康福祉センター	医療連携
令和 7 年	2 月 19 日	東部健康福祉センター	感染症・災害・BCP
	3 月 13 日	県立県民文化ホール	データ連携

<延べ参加者数：11名>

②スーパービジョン

実施日	場 所	研修内容	参加人数
令和 6 年	5 月 16 日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン
	5 月 17 日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン
	7 月 12 日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン
	8 月 19 日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン
	9 月 18 日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン
	10 月 11 日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン
	11 月 29 日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン
	12 月 3 日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン
令和 7 年	1 月 31 日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン
	2 月 14 日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン
	3 月 14 日	東部健康福祉センター	資質向上主任ケアマネスーパービジョン

<延べ参加者数：11名>

③その他

実施日	場 所	研修内容	参加人数
令和 6 年	7 月 26 日	あんしんセンター	身寄りのない方の支援
	8 月 22 日	あんしんセンター	入退院時の引継ぎルール
	9 月 5 日	あんしんセンター	危険物取扱者保安講習会
	10 月 8 日	セリーズ	安全運転管理者講習
令和 7 年	1 月 31 日	オンライン研修	精神障害を

<延べ参加者数：5名>

※オンライン研修が少なくなり、複数名の研修参加が難しくなった。

その他の研修参加が 50%となった（令和 5 年度：10 名）

(2)施設内研修

実施日	場 所【デイホール】	研修内容	参加人数
令和 6 年	4 月 17 日	集合	事業計画・施設理念・法令順守
	5 月 22 日	集合	感染症予防
	6 月 26 日	集合	BCP
	7 月 24 日	紙面	感染症
	8 月 21 日	紙面	高齢者虐待、身体拘束、事故防止
令和 6 年	9 月 18 日	紙面	ノーリフトケア
	10 月 16 日	集合	感染症

令和 7 年	11 月 20 日	集合	認知症ケア	4 名
	12 月 18 日	紙面	医療の知識	4 名
	1 月 15 日	紙面	栄養マネジメント	4 名
	2 月 19 日	紙面	高齢者虐待、身体拘束、事故防止	4 名
	3 月 19 日	紙面	生活リハビリ	4 名

※内部研修は、前年度同様に全員参加が出来た。

<延べ参加者数：48 名>

④防災

実施日	場 所	研修内容	参加人数
令和 6 年	4 月 16 日	研修 B C P 見直し	4 名
	5 月 8 日	研修 災害時の CM の役割	4 名
	8 月 16 日	訓練 机上訓練 三里地域に訪問中の地震発生	4 名
	8 月 20 日	研修 施設内防災備品配置図	4 名

※職員 1 名が防災士の資格取得し、防災研修や訓練に役立てた。

<延べ参加者数：16 名>

法人内で行われる防災委員会にも毎月参加し、法人内の防災訓練にも参加している。

⑤感染

実施日	場 所	研修内容	参加人数
令和 6 年	4 月 9 日	委員会 感染状況の確認・周知徹底	4 名
	4 月 9 日	研修 嘔吐があった利用者の訪問について	4 名
	10 月 8 日	委員会 感染状況の確認・周知徹底	4 名
	10 月 8 日	研修 感染について基礎的な知識	4 名

<延べ参加者数：16 名>

※法人内の感染症委員会にも毎月参加し、その内容を伝達講習、周知徹底している。

⑥虐待防止・身体拘束

実施日	場 所	研修内容	参加人数
令和 6 年	4 月 2 日	委員会 虐待、拘束の有無の確認、周知徹底	4 名
	5 月 8 日	委員会 虐待、拘束の有無の確認、周知徹底	4 名
	6 月 4 日	委員会 虐待、拘束の有無の確認、周知徹底	4 名
	7 月 2 日	委員会 虐待、拘束の有無の確認、周知徹底	4 名
	7 月 2 日	研修 虐待	4 名
	8 月 6 日	委員会 虐待、拘束の有無の確認、周知徹底委員会	4 名
	8 月 6 日	研修 「その人らしさ」を大切に	4 名
	8 月 21 日	紙面 施設内研修会	4 名
	9 月 3 日	委員会 虐待、拘束の有無の確認、周知徹底	4 名
	10 月 1 日	委員会 虐待、拘束の有無の確認、周知徹底	4 名
	10 月 1 日	研修 「鼻めがねという暴力」	4 名
	11 月 5 日	委員会 虐待、拘束の有無の確認、周知徹底	4 名
	12 月 3 日	委員会 虐待、拘束の有無の確認、周知徹底	4 名
令和 7 年	1 月 7 日	委員会 虐待、拘束の有無の確認、周知徹底	4 名
	2 月 5 日	委員会 虐待、拘束の有無の確認、周知徹底	4 名
	2 月 19 日	紙面 施設内研修会	4 名
	3 月 5 日	委員会 虐待、拘束の有無の確認、周知徹底会	4 名

<延べ参加者数：68 名>

5. 総括

- (1)介護保険の目的に沿って、自立した生活を継続し、要介護状態の軽減・悪化予防をするために、適切な保健医療サービス、福祉サービスが総合的かつ効率的に提供されるように、利用者を継続的に支援することに努めた。
- (2)感染対策として、モニタリング等訪問時は利用者にマスクの装着を促し、換気、感染拡大時期には短時間の訪問等予防対策に努めた。予防対策を徹底し、感染対策を図ることで、職員の感染者は出さず、継続的な業務が行えた。
- (3)令和6年度目標実績数の要介護者 128 件/月・要支援者 28 件/月に対して、令和6年度の実績数は要介護者 130 件/月・要支援者 31 件/月と目標を達成した。
新件は令和6年度 44 件、令和5年度 42 件と大きな変化は無かったが、下半期から入院・入所・死亡等の要因で、125 件/月を下回る月もあった。
- (4)質の高い支援ができるように、事業所内での知識の共有や自己研鑽に努めた。
統合的なアセスメントを実施しながら、個々の生活課題に対する目標が達成出来るように、研修の機会を持ち、毎週行われている居宅会議では、困難ケースの具体的な処遇の方針やマネジメントに関する技術の向上に繋がるように、互いの意見交換や伝達講習など行う事で、介護支援専門員としての資質の向上を図った。職員の中には高知市居宅介護支援事業所協議会・東部ブロック運営委員・資質向上委員主任ケアマネの会・東部事例勉強会の役員として研修等の立案や運営に携わり、ケアマネジャーの質の向上に寄与した。地域ケア会議や各種研修等に積極的に参加し、地域住民・他事業所のケアマネジャーとのつながりを深め、多様な情報や知識の収集を図ることが出来た。
- (5)法人で行われている各種委員会の参加により、法人の活動や取り組みについて意識を持ち、委員会の内容は事業所内で共有することが出来た。
- (6)デイサービスと定期的に話し合いを行い、地域に選ばれ・頼られる施設になる為にどのような活動や取り組みを行うか、法人として介護サービスの質の向上に努めた。
- (7)地域との交流を深めるため、田役の参加や、エコマックの配布等地域との交流を深めた。
- (8)法人行事（さわらび祭）等特養入居者の楽しみや喜びにつながる行事のサポートを行った。
- (9)防災訓練に全員参加し、災害時の対策と対応を学び、実践に活かせるよう真剣に取り組んだ。

地域連携室さわらび 事業報告書

1. 令和6年度 運営方針

- (1)法人の専門性・設備・機能を生かしながら、地域の中でさわらびがあつてよかったと多くの皆様に思ってもらえるよう役割を果たす。
- (2)地域の「困ったな」をそのままにしない。
- (3)利用者や家族、住民の何気ない一言やつぶやきにアンテナを張って聞き逃さない。

2. 令和6年度 業務内容

- (1)地域の相談窓口対応
- (2)地域で開催される会合や行事への参加
- (3)宅老所や老人クラブ等の交流や支援
- (4)ボランティアや社会参加等、活動のきっかけ作りとなる機会や場の提供
- (5)さわらびの存在が地域の社会資源として機能していく為のニーズの聞き取り
- (6)防災活動に地域と共に取り組める関係づくりと連携強化
- (7)田役への参加
- (8)ほおっちょけん相談窓口対応

令和6年度 基本方針・稼働率目標に基づいた業務内容を次のように行った。

令和6年度 事業報告

1. 事業内容

(1)営業日及び営業時間 月曜日から金曜日 午前8時30分から午後5時30分

※但し、12月29日から1月3日は除く

(2)職員体制

室長 1 名（常勤）

2. 相談対応

(1)令和 6 年度は、電話や来設による相談対応は 20 件（前年度 29 件）であった。相談内容としては、介護保険に関することや生活に関する相談が中心で、必要に応じて包括支援センターや居宅介護支援事業所等への連携を図った。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
介護	0	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	5
生活	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
その他	0	3	6	1	0	2	0	1	0	0	0	1	13
合計	1	3	8	3	1	3	0	1	0	0	0	1	20

(2)高知市からの要請を受け、開設している「ほおっちょけん相談窓口」の相談実績は、令和6年4月～令和7年3月末までの間で5件（前年度8件）であった。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	0	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5

(3)地域活動

- ①高須地区民協定例会への参加（毎月）
- ②高須老人会、ミニデイ活動の後方支援や参加協力
- ③五台山東和老人会の百歳体操や行事への参加
- ④五台山地区田役（年２回）
- ⑤五台山ふれあい作品展への作品（デイサービスセンターこぬれ）出展
- ⑥地域住民を交えた防災訓練開催

延べ人数：525 名

3. 総括

これまで積み重ねてきた活動を通して築き上げてきた地域とのつながりが今後も持続可能であるよう丁寧に活動を続けた一年であった。高齢者の自主的な活動組織である老人会に於いては、高齢者の社会参加や生きがい作りの為の後方支援という形で関わっており、運営に必要な書類作成や時には法人のバスを提供した外出活動等を通して活動的な状態を維持し続ける一助になる取り組みに努めている。法人が地域から必要とされ、頼りにされる存在である場面が一つでも増えるよう積極的な活動と関わりを継続していく。相談支援においては、地域住民の視点（目線）に寄り添った対応や支援を心掛けて「困りごとの解決」に取り組んだ。